

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【87】

2. 日時：令和4年2月14日 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、宇田川安全審査官、服部（靖）

安全審査専門職、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他14名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	本日の中国電力嶋 2 号炉の天津今にヒアリングを外した始めたいと思います。
0:00:07	まず主、中国電力から本日のメニューの説明をお願いします。
0:00:16	はい。中国電力の大窪です。本日の説明、ご説明の流れといたしましては、まずは 1 月 31 日のヒアリングの残件分について、コメントをいただき、
0:00:28	その極時間を区切らせていただきまして制御棒の耐震計算書等についてご説明させていただきたいと考えてございます。
0:00:37	説明の流れとしてはよろしいでしょうか。
0:00:41	はい。規制庁 S 大丈夫です。
0:00:45	はい、では、1 はい。
0:00:50	はい。中国電力の大窪です。
0:00:52	では、1 月 31 日ヒアリング残件分についてお話をさせていただきたいと思います。はい。内容につきましては、1 月 31 日にご説明済みですのでよろしければ、コメントの方をよろしく願いいたします。はい。ありがとう。以上です。
0:01:10	はい規制庁です。ありがとうございます。
0:01:12	では規制庁からコメントある方、お願いします。
0:01:28	規制庁 駅です。
0:01:31	それでは補足説明資料のですね資料ナンバー 4。
0:01:39	N-S に、ほ
0:01:42	027-10-18。
0:01:47	について
0:01:49	ちょっと確認し、
0:01:52	ことがあります。
0:01:54	まず、ちょっとこれに関しては、
0:01:59	ちょっと主に記載に関するものなんですけれども、まず、
0:02:07	2 ページ。
0:02:10	3 ポツ、
0:02:13	原子炉圧力容器炉心支持構造物及び、
0:02:17	炉内構造物の耐震評価方針ということで、
0:02:22	ここに
0:02:24	3 行目にですね
0:02:27	重大事故等対象設備の耐震設計における、
0:02:32	云々、
0:02:33	というものを呼び込んでます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	が、これは
0:02:40	補足説明資料、
0:02:44	ということでよろしい、まずよろしいですか。
0:02:50	中国電力大窪です。はい。ご理解の通りこちらにつきましては補足説明資料のことを指しております。以上です。
0:02:58	規制庁江田です。わかりました。それで、ちょっとこれが補足説明資料、
0:03:03	まず補足説明しようかどうかというのがちょっと、
0:03:07	わからなくて多分、前の方でも特に、
0:03:13	補足説明資料の番号。
0:03:16	も含めて図書引用っていうのはやって、
0:03:19	でなくてここで初めて、
0:03:22	鍵括弧として出てくるように思ったんですけど、現状そその通り、どっかで読み込んでるんですよ。
0:03:33	中国電力の大窪です。現状の記載につきましては今言われた通りですが資料番号と記載してございませんのでこちらにつきましては補足、補足説明資料、
0:03:46	の呼び込み先がわかるような記載に修正させていただきたいと考えます。以上です。
0:03:52	規制庁植木です。わかりました。
0:03:56	見やすさから言うと、1ポツのはじめにのところに、最後に
0:04:02	この補足説明資料が、
0:04:05	説明それ参照図書っていうことで、添付書類、
0:04:11	7ポツで全部呼び込んでるんですけど、ここにですね
0:04:15	て、
0:04:17	この補足に関連する補足説明資料っていうことで、頭の方で、
0:04:23	呼び込み図書番号も含めて呼び込むのが、わかりやすいかなと思ったんですけど、ちょっとそこ、それはお任せしますけど。
0:04:33	いずれにしてもちょっと番号を含めて、補足説明資料であるっていうことがわかるように、
0:04:40	お願いします。
0:04:42	そ、それとですねちょっとそれを
0:04:48	他のはちょっとこれ読んでてですね。
0:04:56	多分わかる人はわかるんだと思うんですけど、
0:05:02	どない構造物。
0:05:04	だけは、
0:05:07	ちょっと扱いが違って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:11	圧力容器と炉心支持構造物は、
0:05:15	同じ。
0:05:19	分類ということで、具体的に言うと、
0:05:24	12 ページ。
0:05:26	のところですねこれは圧力容器内部構造物なんですけど、これに関しては、
0:05:35	等は、1×10 のマイナス分上未満。
0:05:39	の、
0:05:41	事故後の
0:05:44	短期消灯ですか、それとの組み合わせ。
0:05:51	もうやってで、
0:05:55	やってますと一方、
0:05:57	圧力よ。
0:06:00	圧力容器と炉心支持構造物は、
0:06:04	今
0:06:06	そう、3. 6 日というか、1×10 の前倒し上ね、移行と組み合わせてるということ で、
0:06:14	内部構造物だけは一般、
0:06:17	機器、
0:06:18	設備でしたっけちょっと呼び方忘れちゃったけどバウンダリ以外の一般機器と同じ扱 いだと。
0:06:25	ということでこういう違いになってると思うんですけど。
0:06:28	それを検討してる。
0:06:31	その説明をしてるのがね、ですね、先ほどの、
0:06:36	補足説明資料のところ、
0:06:39	土のう構造物の考え方を含めてそちらの方で説明してるんで、
0:06:45	そこを、
0:06:48	見にいかないと、なぜ炉内構造物だけ扱いが違うのかなっていう。
0:06:53	ことがちょっとわからなかったんで、趣旨はそういう趣旨なんですけど、よろしい でしょうか。
0:07:03	中国電力の大窪です。ご質問の趣旨、理解いたしました。本資料はですね今 ご説明いただいたように当別の補説を要約したような資料となってまして照査 まで、
0:07:17	記載してごさいませんのでそちらとの資料との関係がわかるような記載に修 正させていただきます。以上です。
0:07:25	規制庁植木ですお願いします。それから、ちょっと同じような話で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:31	2 ページの表 2.1、
0:07:39	圧力容器と炉心支持構造物等の炉内構造物の三つについて、
0:07:45	ジャグの要求と、今回工認での
0:07:50	組み合わせについてと書いてあるんですけど、それに関して炉内構造物だけは、
0:08:00	9 尺ではAクラスと扱う。
0:08:04	Aクラスになっていたの、
0:08:07	炉内構造物は
0:08:10	エスワンスターだけの組み合わせになってる。
0:08:16	その説明がちょっと1 ページの方に、
0:08:20	下位書いてあるんですけども、ここに書いてあることをですね表にもですねちょっと注記として、
0:08:29	炉内構造物のところに注記を、
0:08:32	つけて1 ページに書いてある内容をちょっと注記で、
0:08:37	同じ繰り返しになるんですけどちょっと表を見た時にですね違いがわかるようにちょっと注記を、
0:08:45	だ方がわかりやすいかなと思ったんですけど、いかがでしょうか。
0:08:51	中国電力の大窪です。表だけ見たときに、内容がわかるように注記ということで、はい。おっしゃる通り、わかりやすい記載に修正させていただきたいと考えます。以上です。
0:09:04	規制庁植木です。はい。よろしくをお願いします。
0:09:08	補足説明書量のナンバーの湯。
0:09:12	4 に関しては、
0:09:15	以上です。
0:09:17	次に、ナンバーの 5。
0:09:22	資料番号N-S2 の方の 027-10-36、
0:09:29	この補足説明資料について、
0:09:35	これもですね、ちょっとわかりやすさの観点からなんですけど、
0:09:42	今、
0:09:45	に、
0:09:47	1 ページの 2 歩通の、
0:09:51	2 ポツとか 3 ポツですね圧力容器とか格納容器の図書構成について、
0:09:59	建設Gとの比較、
0:10:04	も含めて、ここで説明してます。具体的にはですね。
0:10:11	2 ページ以降に、図書版図書番号。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:16	とですね、タイトルに関して、建設時との比較の形で表をまとめていただいて、
0:10:23	いるんですけど、
0:10:26	先行のですね女川では、この表の
0:10:31	ここの表の前に、1 ページで説明している、
0:10:37	文章で説明してることをですね、もう少し
0:10:42	2 ページ以降の表よりも大きくりで表、
0:10:48	法、概要ということで、
0:10:50	つけていただいている、そちらを見ると、大体全体、
0:10:55	の構成がどう違ってのかっていうのが、よくわかった。
0:11:00	で、それを踏まえて2 ページ以降で細かいところを確認すれば、
0:11:05	よいいようになっているのでちょっと同じ上側と同じようなですね概要の表も、
0:11:13	追加でつけていただくと。
0:11:16	見るときにわかりやすいのかなと思っていましたがいかがでしょうか。
0:11:23	はい。中国電力の大窪です。当社の資料としましては今お話しいただいたように個別の当初のですね対応だけつけさせていただきましたが、
0:11:35	先行プラントの内容のように概要概要として、対応がわかるような
0:11:42	形でちょっと
0:11:43	小部通の図書の対応の前に全体的な対応というのをお示しできるような形で記載考えさせていただきたいと考える。以上です。
0:11:56	規制庁植木です。よろしくお願いします。
0:11:59	それと6 ページで、
0:12:03	小令和し、質問なんですけど
0:12:07	この表の最後の三つですねS/Cアクセスハッチ。
0:12:12	以下、真空破壊装置とか、三つ図書があって、これは、
0:12:18	聞こうんだ。
0:12:20	では作成してなくて今回つけますということなんですけど、
0:12:27	この三つについて、なぜ今回こんでつける。
0:12:32	ようになったかっていうのを、ちょっと教えてください。
0:12:40	中国電力大窪です。これらにつきましては基本的に他の部位で代表できるということで建設時の工認に、
0:12:51	添付されていなかったものになります。
0:12:55	こちらにつきましては先行プラントのですね耐震評価の部位等を踏まえまして、今回工認で追加させていただく。
0:13:06	してございます。以上です。
0:13:10	規制庁おいては、わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:14	あれなんですかね。特に何か深い意味は、
0:13:19	なくて、表、詳細化っていうことで理解すれば、
0:13:25	よろしいんですか。
0:13:26	わかりました。
0:13:28	次の資料でナンバー6。
0:13:33	むしろですね補足。
0:13:36	ですけど、
0:13:41	圧力容器と格納容器の評価手法、
0:13:47	同 2 対
0:13:49	でなんですけど、
0:13:53	まずですね。
0:13:59	ここで、
0:14:04	2 ページ。
0:14:06	とか、3 ポツの(1)。
0:14:11	報Ⅱなんですけど、これの二つ、二つ目のパラ甘さ下から 2 行目ですねポツの下から、
0:14:21	二つ目で、
0:14:23	失礼、下から 3 行目の途中あたりですか、単位荷重当たりの発生応力のみを、
0:14:30	FEMえっと、
0:14:34	より求めておき、これに対して条件に応じて補正を行う。
0:14:40	方が処理が簡便であるためっていうふうに
0:14:44	書いてあるんですけど、
0:14:46	これ、
0:14:48	条件に応じて補正、補正を行う。
0:14:51	という、
0:14:52	ところが、
0:14:55	よく補正と言ってるのは、
0:15:00	この当初で説明してるように、
0:15:03	要は荷重、荷重の比率、
0:15:08	をかけてるっていうことなんですけどちょっと補正を行うっていうのが、
0:15:12	少し、何か特別なことをやってるようにも、
0:15:16	読めてしまったんですけど、その辺りはいかがでしょうか。
0:15:22	中国電力の大窪です。こちらにつきましては今おっしゃった通り荷重飛灰であつたり品 5 飛灰をすることを補正を行う。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:33	というふうに表現してございます。以上です。
0:15:37	規制庁大城です。
0:15:39	そうであればちょっと補正を行うっていうのはまたちょっと別の読み方もす、してしまうので、ちょっとここもう少しわかりやすく、
0:15:51	ひる場合、日荷重引いばいやにしてるとかああいう、
0:15:58	ことでわかるように書いた方がいいのかなと思ったんですけど、よろしいでしょうか。
0:16:05	中国電力の大窪です。はい。こちらの記載につきましては
0:16:10	実施している内容がわかるような記載に修正させていただきます。以上です。
0:16:16	規制庁江田です。お願いします。それとですね、同じところで、一つ目のパラグラフですね
0:16:24	一つのパラグラフの下から2行目からですかここで、
0:16:29	単位荷重での発生応力は単一
0:16:34	荷重に対して検討するというので、
0:16:38	魂胆5日中っていうのは、
0:16:44	ちょっと意味を教えてくださいんですけど。
0:16:49	はい中国電力大窪です。こちらにつきましては例えばX方向Y方向という荷重を考える必要がある際には、X方向のみに対して、X方向のみ、
0:17:03	に対して、Y方向に対してそれぞれの単一荷重に対してという意味で記載しております。以上です。
0:17:11	規制庁、植木ですはい、わかりました。
0:17:14	であればですねと、ちょっと括弧書き、単一荷重にちょっと括弧書きをつけて、
0:17:22	今大窪さんが説明されたようなことを、括弧書きで書いていただくとわかりやすいかなというちょっとここで単位荷重っていう、
0:17:34	言葉が出てきて、
0:17:36	ここではもう、単一荷重っていうことを言ってるので、ちょっと、
0:17:41	何かわかりづらくなっていうふうに思ったので、
0:17:45	ちょっと、
0:17:46	説明を追加してもらえると。
0:17:50	ありがたいんですけどよろしいでしょうか。
0:17:54	はい。中国電力大窪です。はい。こちらの記載につきまして内容がわかりやすいような記載に修正させていただきます。以上です。
0:18:02	規制庁植木です。お願いします。
0:18:10	とそれとですね。
0:18:14	3ページなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:36	あ、すいません。
0:18:40	部、
0:18:41	4.1 で、FEM等による、
0:18:48	解析能力、飛灰医師評価を行う場合と、
0:18:55	(1)が、FEM等により、より求めた単位荷重当たりの
0:19:01	発生応力がある場合とこれ、括弧 1 が言ってるのは、
0:19:08	発生応力があるっていう、
0:19:12	いうか、
0:19:15	時黄色くというか発想力が残っている場合っていうふうに理解、
0:19:23	指定しましたんで、(2)の方は、
0:19:30	その他、耐荷重あたりの値が明示されてなくて、ある。
0:19:39	荷重に対する発想力しか、
0:19:42	ない場合とで、これは、
0:19:46	この場合には単位荷重に換算する。
0:19:50	すると、
0:19:52	いうことを
0:19:54	ている。
0:19:56	だと思います。で、
0:20:00	ここ(1)と(2)っていうのはあんまり、
0:20:04	本質的な問題ではなくて、要は、
0:20:08	単価中辺り、
0:20:09	の、発生応力をもとに、ケースバイして評価することなので、それが、
0:20:17	記録として残ってるかどうかだけの話なのであんまり、
0:20:21	本質的な話じゃないんですけどちょっとわかんなかったのが、4.2 ですね。
0:20:28	荷重条件をひばり。
0:20:31	岸。
0:20:32	評価を、
0:20:35	行う場合、
0:20:37	ということがあって、
0:20:44	これ、
0:20:45	これと 4.1、
0:20:49	がですね。
0:20:51	4. 一井の
0:20:55	(1)ですか(1)で言ってることと、
0:21:00	ちょっと何か区別がよくわからなくて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:09	4.1 は、
0:21:12	暴力を飛灰し評価を行う場合、4.2 は、
0:21:17	過重強。
0:21:20	元を飛灰し評価を、
0:21:23	行う場合というふうに書いてあって、
0:21:28	ここに、
0:21:30	て2で書いてあることがですね。
0:21:33	ちょっとよく、
0:21:36	何回か、4.1の(1)の
0:21:39	中身をもう少し細かく言ってるだけのような気がしたんですけど、4.2っていうのはこれは、
0:21:47	ことさら、これをここで説明してるっていうのは、
0:21:53	どういうことかちょっと説明お願いします。
0:21:58	はい。中国電力の大久保です。こちらの記載につきましてはちょっと4.2の方のですねタイトルが適切ではなかったかなと。
0:22:08	考えておりますのでこちらについてはちょっとわかりやすいように修正させていただきたいと考えてます。内容についてなんですけども4.1と4.2の違いについては、
0:22:19	4.1については飛灰により応力の評価を行う場合の説明をさせていただきます。
0:22:27	一方で4.2の方なんですけど、こちらは応力の算出の話をしてではなくて、飛灰の評価によって荷重を算出するという
0:22:39	ことを説明させていただきます。ですのでこちらに書いてありますようなスパージャ類だったり、サーマルスリーブだったりといったものについては4ポツ2で、
0:22:52	ご説明している飛灰評価によって算出した荷重を用いましてそこからさらに応力の算出というプロセスとなっております。
0:23:03	ですので冒頭申しました通り4ポツ2については評価を行うというよりは評価用の荷重を算出するといった、タイトルに修正させていただきたいと考えてございます。以上です。
0:23:17	規制庁伊井です。今の説明でよくわかりました。
0:23:23	そうですね、融点の方は梶井
0:23:27	荷重を
0:23:29	出す。
0:23:31	古藤委員。そうですねシンドウ費をもちシンドウ費5の説に対してその新土肥使って、
0:23:40	荷重を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:43	出しますと言ってるんですねで、その荷重日を作る荷重を出した後に、
0:23:49	ポンドの荷重費を出して、(1)、
0:23:54	に行ってってということだというふうに、
0:23:59	理解しました。そうすると、やっぱり記載をちょっとやっぱりわかりにくいので、
0:24:06	わかりやすく修正をお願いします。
0:24:12	一部全部オオクボですか。
0:24:15	はい。記載の修正承知しました。以上です。
0:24:19	規制庁日置です。よろしくお願いします。
0:24:22	あと、6 ページなんですけど、
0:24:28	等、
0:24:31	ここで
0:24:36	機器、機器ごとにですね評価、
0:24:42	協力状態。
0:24:44	困り許容応力状態に対して、
0:24:48	応力評価をまず何をやって、
0:24:52	どういうやり方でやって、
0:24:53	いてと。
0:24:55	それでまず、
0:24:58	そうですね、この表は、
0:25:01	計算手法。
0:25:03	後、
0:25:04	まず示し、
0:25:07	いるんですけど、ここで許容力状態が、3Sと4S、
0:25:17	がある、あるんですけど、
0:25:22	5号Asっていうか運転状態5、
0:25:27	ていうか、協力状態555ですか。
0:25:31	それは必要ないんですけど、これは。
0:25:37	はい中国電力大久保です。先行プラント等の記載では運転状態5というものが記載し、されているのは当社としても確認してございます。
0:25:49	こちらにつきましては運転状態V、耐震評価以外のですね強度評価については、建設時から荷重の条件が運転状態5において上回って、
0:26:03	でないため、評価対象としておりませんのでこちらの表には記載してございません。以上です。
0:26:12	規制庁駅です。わかりました。それは、あれさてどこかに書いてあるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:23	中国電力の大窪です。そちらの記載につきましてはちょっと本資料の中には記載されておりませんので。衛藤。
0:26:34	ちょっと適切な記載箇所、検討しまして中キーのような形で記載させていただきたいと考えます。以上です。
0:26:44	規制庁植木です。よろしく申し上げます。ちょっと先行と比較したときに何でないのかなっていうふうになってしまうので、
0:26:53	どこかにそれ、先ほど、
0:26:57	説明を書いていただければと思います。
0:27:06	それから 20。
0:27:08	ページなんですけど、
0:27:12	評価フロー。
0:27:17	もして、
0:27:23	この右側のフローのですね紙、下から、
0:27:27	2 番目。
0:27:30	の箱でですね、耐荷重、
0:27:35	今回工認における評価用荷重の比、
0:27:41	ホ、
0:27:43	損出、
0:27:48	というのがあって、
0:27:53	これに関しては、
0:28:02	さっきちょっと、
0:28:06	確認しましたけど単位荷重がない場合っていう、
0:28:13	場合があってそれに関しては格納容器なんつうか見る、見ると、格納容器なんかが結構その単位荷重、
0:28:24	ないものが、
0:28:26	あるのかなというふうに思って。
0:28:32	のようななんですけど、ちょっと先ほどの本文の方の説明で出てくる
0:28:41	説明とちょっとこのフロー図が、一対一に対応してない。
0:28:47	いやような、
0:28:51	今のところですね
0:28:53	荷重、荷重を
0:28:56	南下しシンドウ費で求める。
0:29:00	何か不
0:29:04	流れってというのが、このフローにはちょっと書いてないような気がしたんですけど、いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:14	中国電力の大窪です。
0:29:16	今ご指摘いただいた箇所の単位荷重という記載は小チラーについては
0:29:24	既工認での荷重というふうに記載を修正するべきかと考えてございます。
0:29:33	先ほど言われた箇所ですね、先ほどご説明させていただきました荷重を飛灰で算出するという、
0:29:43	プロセスにつきましても、ちょっとこちらの方に記載ができてないかなと考えてますので、ちょっと全体通してですね本文の説明と整合するような形で、フローにつきましては修正させていただきたいと考えます。以上です。
0:30:03	規制庁池です。はい。わかりました。よろしく申し上げます。
0:30:09	それから、
0:30:11	21 ページ。
0:30:17	ですけどちょっとここで、
0:30:20	どっからなかったのが、
0:30:31	圧力容器のあれですかね円筒胴に関するものですか
0:30:39	左側の単位荷重のランド、内圧、ラージP、
0:30:46	<input type="checkbox"/> というのがある、
0:30:50	その右の評価用荷重の一番左のGP、
0:30:56	<input type="checkbox"/> 、
0:30:58	MPaすいませんちょっとよろしいですか中国電力オオクボの数値につきましてマスキング箇所となっております。
0:31:08	すいません。規制庁のです。マスキング箇所は削除しますので、マスキングスカート削除します。はい。
0:31:19	規制庁駅です。えっとですね、
0:31:24	21 ページの、
0:31:27	耐火上の内圧、左側のフラーGPの値、
0:31:33	とそれからその右の欄の、
0:31:36	評価用荷重
0:31:38	の値でちょっと大大小関係についてちょっと、今回の方が何か、
0:31:46	ちょっと地域、
0:31:48	小さいような気がするんですが、これ、これについてちょっと説明お願いします。
0:31:54	はい中国電力の大窪です。こちらにつきましては参加中の方がですねちょっと中途半端な数値になって、
0:32:04	おりますので、評価に使った圧力のように見えてしまうんですけども、こちらにつきましてはこの値を丹。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:15	2 単位荷重として扱っている。
0:32:18	という、
0:32:19	ものとなっておりますして評価用の荷重につきましては、
0:32:24	江藤、すいませんと建設時の評価用荷重につきましてもこちらの表に記載しております評価用荷重と同じ値となっております。
0:32:36	今ご説明しました通り、単位荷重の方は計算の基準として設定している扱い、値となっております。以上です。
0:32:49	あ、規制庁駅です。さあ、
0:32:54	わかりました。
0:32:57	そうするとこの
0:32:59	左側に書いてある単価受
0:33:01	つていうのは必ずしも、
0:33:03	評価で用いた
0:33:06	ないやつではなくて、
0:33:10	計算するにあたって
0:33:13	出て、用いた圧力というふうに解釈すれば、
0:33:20	よろしいですか。その数字が、それによる発生応力が既婚で出ているので、
0:33:28	それをその比をとって、
0:33:31	比率の欄で 0.967 でありますけど、その比率 II を使う。
0:33:40	で、
0:33:41	圧力による応力を算出しているつていう、そういう理解でよろしいですか。
0:33:48	中国電力大久保です。ご理解の通りです。以上です。
0:33:54	100 規制庁駅です。わかりました。
0:33:59	そうすると、ちょっと他の
0:34:02	耐荷重に関しては本当に
0:34:07	6 日中というふうに、そういう数値なんですけど、圧力に関しては、必ずしも、他の表もそうなんですけど、
0:34:18	そうで、そう、単位単位つていうふうに、耐荷重つていう、
0:34:25	単位圧力ですかそういうふうには読めないの、
0:34:30	これの何か注記を、
0:34:34	付け、
0:34:36	言った方がいいのかなと思ったんですけど、ちょっと、実際に評価で使ってる圧力なのかなつていうふうに今思ってしまったんで、
0:34:49	はい中国電力大久保です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:52	言われる通りですね評価用の圧力のように見えると思いますのでこちらにつきましては実施している内容がわかるような、
0:35:03	記載に修正させていただきます。以上です。
0:35:08	規制庁植木です。よろしくお願いします。
0:35:12	あと、
0:35:13	39 ページ。
0:35:15	お願いします。
0:35:26	例えば下のPⅡですね評価点PⅡのところ、
0:35:34	鉛直地震荷重、
0:35:39	SDでS _s 安直地震荷重で
0:35:47	通常時、括弧通常時の年工事っていうふた通りがあって、それぞれ、
0:35:55	地震荷重、
0:35:57	が、
0:35:59	出てますので、
0:36:01	本申請におけるものも出ていて、一番右の比率の欄がですね、1 個しか
0:36:09	ないんですけど、これはあれなんですかね、どういう比率Ⅱ
0:36:15	を示してるんでしょうか。
0:36:20	中国電力、大窪です。こちらにつきましては二つの業務に対してですね跨って比率、記載している場合は上か下かどちらかの大きい比率。
0:36:33	を記載しております。こちらにつきましてちょっと表を見た時にですねそういった内容わかりにくいかなと思いますので記載については、注記を追加するような形で修正させていただきます。以上です。
0:36:50	規制庁植木です。あります。
0:36:55	あれですかそじゅ
0:36:57	上段、上段の比率等、
0:37:00	下段の比率Ⅱ。
0:37:03	下段同士の比率をとってその大きい方の比率、
0:37:08	を使ってるってことですか。
0:37:14	中国電力大窪です。ご理解の通りです。以上です。
0:37:17	わかりました。
0:37:19	そうすると、これに、
0:37:29	ちょっと評価の内容が細かいところわかって、
0:37:34	申し訳ないんですけどそ、そうすると、
0:37:38	そうやってるかどうかわかりませんが例えば通常時、
0:37:42	によるはず鉛直地震による発生応力、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:47	がありましたとそれから、鉛直地震荷重、ネンコウGの発生応力が、既工認時、それぞれありましたという場合に、
0:37:59	は、その元の発生応力っていうのは、
0:38:05	比率がおっきい方の係数を使って元の発想力、
0:38:12	っていうのは、
0:38:13	とどどういうふうになる。どちらを使うんですか。
0:38:20	中国電力の大窪です。
0:38:22	元の発生応力につきましては厳しいほう能力だと考えてございますがちょっと確認した上で先ほどのですね中期、
0:38:35	2、追加する、追加というか注記に合わせて記載するような形で修正させていただきたいと考えます。以上です。
0:38:47	規制庁池です。ちょっとこのやり方でいろいろ、
0:38:51	間考えられ、
0:38:54	発生応力、まず、どのケースについて出してるのかとか、
0:39:00	は、
0:39:06	うん。
0:39:06	例えば、
0:39:11	通常時とネンコウ時でそれぞれ発生応力を出してるとすると、それぞれの発生応力、
0:39:19	を使って、比率は大きい方の比率を掛けますとか、
0:39:24	ちょっといろいろやり方が考え、
0:39:29	誰で、ちょっとその辺がですね
0:39:33	今、
0:39:35	多様 2、
0:39:37	とか、荷重は蓋件数の場合があつて比率はその大きい方の比率をとってるとかかっていう場合に、
0:39:45	どうしてるのかっていうのがわかるように、
0:39:49	注記か何かをしていただく。
0:39:53	頭いいかなというふうに思いますのでよろしく検討をお願いします。記載の検討をお願いします。
0:40:02	中国電力大窪です。記載の検討について承知しました。以上です。
0:40:13	規制庁壱岐です。
0:40:15	それからちょっと、
0:40:17	元確認なんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:23	これちょっと前のプラントでも言ったんですが飛灰っていう言葉なんですけど、これっていうのは何か一般的に、
0:40:32	使われてるんでしょうか。ちょっと私の理解だと、飛灰っていうのはあんまり一般的に、
0:40:39	使われなくて、
0:40:41	ケースバイとか比率倍とか
0:40:46	という言葉の方が、それを聞いた時にすぐ、何となくイメージが湧か湧くんですけど、飛灰っていうのがちょっと、
0:40:55	言われたときに、
0:40:57	ちょっと意味してるところがなかなかわからん。
0:41:02	なくて、
0:41:04	ちなみに、多分飛灰っていうのは下柏崎もそういう言葉を使っていて、柏崎のときにもちょっと同じような指摘をしたんですけど、
0:41:17	結局、飛灰っていう言葉は変わらなかったんですけど、
0:41:21	女はちょっと言葉を変えて、
0:41:25	不ゴウトウbyだったか、ちょっとオートバイやオートバイでまた、
0:41:30	ちょっと誤解を招く。
0:41:32	かもしれないので、比率倍とか係数倍とか、
0:41:37	なんかそういう言葉の方が、
0:41:40	わかりやすいかなというふうに思ったんですけど。
0:41:43	そのあたりは、
0:41:46	どう考えてますか飛灰っていうのは何か。
0:41:49	普通使われる言葉なんでしょうか。
0:41:57	中国電力、大窪です。ここチラーの飛灰という言葉につきまして
0:42:03	先行プラントの記載を踏まえまして飛灰という言葉使わせていただいております。当社としましても、
0:42:13	応答倍という記載はちょっと誤解を生む部分もあるかなと思ひまして応答倍という記載にはせずに飛灰という言葉を使わせていただいております。
0:42:25	この言葉自体、特にこだわりが的杯という記載にしてるわけではありませんので今言われたような比率倍といったですね
0:42:36	一般的キー
0:42:38	に使われるような言葉に修正させていただきたいと考えます。以上です。
0:42:45	規制庁植木です。
0:42:47	よろしくお願ひします強制するわけ、あんまり本質的な問題じゃないんで、強制はしませんけど、ちなみにちょっと柏崎の時もですなうちの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:59	町内の町内でもですね、飛灰って言葉なんだとかっていう、
0:43:06	ことんがちょっと話題としてで、
0:43:10	出てきたのでできればわかりやすい言葉の方がいいのかなというふうに思いました。ちょっとそこは、検討をお願いします。
0:43:21	あと、
0:43:35	少々お待ちください。
0:43:57	滝社長ウエキです。
0:44:01	補足の方は、
0:44:07	あと資料、添付書類の方でちょっと1件ありまして、
0:44:14	へえ。
0:44:15	と。
0:44:25	資料番号 51 の、
0:44:29	原子炉圧力容器の応力解析の方針なんですけど、
0:44:42	ちょっとこれ、前回ちょっと確認し、
0:44:49	5 歳これの
0:44:51	23
0:44:53	23 ページではないですね。
0:45:04	33 ページ。
0:45:08	ですね、
0:45:11	これで前回のヒアリングでも、
0:45:16	確かホリノからしか確認があつて□□□□の話なんですけど、
0:45:26	前、その時の説明で、ここに※2 で書く。
0:45:32	か。
0:45:33	書いて、今数値もですね、ここに書く。
0:45:40	ものは□□□□したものではなくて、
0:45:44	元の、
0:45:46	一番上のものを書いてその個別の計算書の方で、
0:45:51	□□□□でっていうことはそちらの方で説明するという。
0:45:56	回答が、
0:45:58	んですけど。
0:46:05	これもある一所懸命、マスクング何か、
0:46:09	スキームじゃないんですか。
0:46:13	コミュニティてます。
0:46:18	マスクングですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:20	あ、失礼しました。ちょっとまた言ってしまった、ちょっと止めてもらいます。規制庁もです。該当部分削除いたします。
0:46:29	失礼しました。規制庁植木です。
0:46:32	ですね、ここで、
0:46:47	応力解析の方針のところ、
0:46:54	わかりました。こここれに関しては、結構です。
0:46:59	私からは以上です。はい。
0:47:03	他にいかがでしょうか。
0:47:07	堀野さんいかがですか。
0:47:10	そういうので下しかもうすべて質問してあるので特にございません。はい。
0:47:17	お願いします。
0:47:18	規制庁の山浦ですけど、ちょっと今聞いてて、記載だけの話で申し訳ないんですけど、
0:47:26	④の資料で、
0:47:29	12 ページの表で、
0:47:31	事故発生後の期間というところで一番上だけが 1×10 のマイナス 2 乗で、
0:47:38	年という数字が入ってないので、これを追加していただきたいのと、
0:47:44	それから、
0:47:48	こんな南波
0:47:50	補足説明のさ、
0:47:52	うん。
0:47:54	最後の資料の、
0:47:56	例えば 21 ペイジーなんですけども、
0:48:00	単位荷重と評価用荷重があって比率があって、
0:48:05	評価用荷重ある単位荷重が比率なんですけども、
0:48:09	単位荷重が工学系で、
0:48:12	評価用荷重がSI形なので、
0:48:15	ちょっと
0:48:17	わかりにくいので注記に
0:48:20	体系を合わせた上で、評価をカジュアル単位荷重により算出すると書くか。
0:48:28	表の中で、単位荷重括弧工学系評価用荷重括弧SI形とか、何かちょっと単位が違うということを、
0:48:37	どっかに注記していただきたいんですけどもいかがでしょうか。
0:48:45	中国電力の大窪です。今言われた内容はですね中キーの位置として記載してございます。記載してる内容なんですけども評価用荷重の単位を単価中の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:58	範囲に換算し、算出し再した値であるということで注記を記載してございます。以上です。
0:49:07	あの、
0:49:09	わかりますけども、
0:49:13	体系が違うということがわかりやすく書いてくれば、もっとわかりやすいなと思ったんですけども、これでいいということだったら、わかりました。はい。私からは以上です。
0:49:36	規制庁のです。では規制庁からは以上です。
0:49:42	中国電力の方からなければ、一旦休憩にしたいと思いますがいかがでしょうか。
0:49:50	はい。中国電力大窪です。こちらからは特にございません。以上です。わかりました。では一旦休憩に入ります。
0:50:00	はい。では後半の議題についてまず、中国事業から資料の説明をお願いいたします。
0:50:09	はい。中国電力の石垣です。まず資料の確認をさせていただきます。
0:50:15	資料ナンバー取りたいと思います。
0:50:19	N-SにA. 200 \$、0060024 点、資料ナンバー1、
0:50:26	その補足説明資料としてN-Sにホー027、10-11 を、資料ナンバー2。
0:50:35	N-Sに、県に 00603 を資料No.3。
0:50:40	その補足資料としてNS日本の 027、10-12 を資料ナンバー4。
0:50:47	N-SにA. 2006-04 を、資料ナンバー5。
0:50:52	N-Sに他 050 号資料ナンバー6。
0:50:58	ANA図に. 2、以下資料ナンバー0001029 を、
0:51:06	資料ナンバー7、01031 を、資料ナンバー8、01032 を、資料ナンバー9、
0:51:14	01033 を、資料ナンバー10、01034 を資料No.11、
0:51:22	010、3 号を資料No.12、
0:51:27	14
0:51:28	27 を、資料No.13 とSIMS。
0:51:35	はい。それでは資料ナンバー1 の制御棒の耐震性について説明いたします。
0:51:42	1 ページ目をご覧ください。
0:51:45	制御棒は地震時において要求される機能として制御棒の挿入機能があります。
0:51:50	水平時報し水平方向地震動に対しましては、
0:51:54	制御棒挿入試験で確認し、鉛直方向の地震に関してはその影響を評価いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:02	指紋 2 号機では、制御棒の型式としてボロンカーバイド型制御棒と冬型制御棒等があるためその両者について評価を実施しております。
0:52:14	2 ページ目をご覧ください。
0:52:16	概略構造図のほうを示しております。
0:52:21	3 ページ目をご覧ください。燃料集合での地震応答解析は添付資料 6-2-2-1、炉心原子炉圧力容器、
0:52:31	及び原子炉内構造物、並びに原子炉本体基礎の地震応答計算書の方に示されており、燃料集合体の最大応答変位 35mm 及び最大鉛直加速度、
0:52:43	1.35×9.8 メートルパーセック 2 以上を用いて評価のほうを実施いたします。
0:52:50	4 ページ目以降をご覧ください。
0:52:53	制御棒挿入の試験について記載をしております。
0:52:58	5 ページ目以降に、試験用の機器の仕様、試験条件、
0:53:04	及び試験装置のを記載しております。
0:53:10	9 ページ目をご覧ください、おい 9 ページ目及び 10 ページ目をご覧ください。
0:53:15	ボロンカーバイド型制御棒とハフニウム棒型制御棒の燃料中央体相対変位のスクラム時間に及ぼす影響を記載しております。
0:53:26	この図より、燃料へ集合体相対変位約 40 ミリまでの範囲において、通常のスクラム仕様値 75% ストローク 1.62 秒以下であることを確認しています。
0:53:39	また、制御棒挿入試験後で制御棒の外観に有意な変形が生じないことを確認しております。
0:53:47	次に 11 ページ目をご覧ください。
0:53:51	制御棒挿入性に対する鉛直方向の地震による影響として、鉛直方向の作用荷重及びそれに伴う時間遅れ、燃料集合体の浮き上がりについて、
0:54:02	評価を実施しており、これについて問題ないことを確認しております。
0:54:07	これらの調査については、補足説明資料の資料ナンバー 2 の方で説明いたします。
0:54:17	それでは資料ナンバー 2 の方をご覧ください。
0:54:21	島根 2 号機の鉛直方向加速度に対する制御棒挿入性の影響について、
0:54:27	企業検討結果 JNES の北井奥津の 2 をベースに検討を進めております。
0:54:35	5 ページ目をご覧ください。
0:54:38	鉛直方向地震の影響評価として制御棒に作用する荷重について検討しております。
0:54:47	8 ページ目をご覧ください。
0:54:49	こちらの検討の方は、
0:54:57	図 2 及び図 3 の方にボロン型制御棒と、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:02	ハフニウム棒型の制御棒の上向きの制御棒挿入力と、そのほかに下作用する荷重について検討をしております。
0:55:15	上向きの制御棒挿入力に関しましては炉圧スクラム時の挿入力と、あとは負所上側の力としまして浮力、
0:55:25	下側の力としましては、自重、鉛直地震動及び摩擦力を考慮しております。
0:55:34	鉛直地震動に関しましては、交番荷重ですが、保守的に下側にかかる力として計算しております。
0:55:42	上量制御棒とも上向きの力の合計に対し、下向きの力の合計は、小さくなっており、
0:55:52	制御棒挿入性は鉛直方向の地震力を考慮しても、挿入されることを確認しております。
0:56:00	9 ページ目をご覧ください。
0:56:02	上下地震動による抗力で生じる時間遅れを検討しております。
0:56:08	燃料集合体の変位 35mmでの摩擦抗力、
0:56:13	から、
0:56:14	し、その抗力と、試験で確認した、スクラム時間遅れの増加分を用いて、
0:56:22	鉛直方向加速度の 1、す。
0:56:27	1.35×9.8 メーター／sec。
0:56:30	に採用する時の抗力から、その比率を考慮して、鉛直地震動の影響によるスクラム時間遅れを検討しております。
0:56:40	この鉛直地震動の影響によるスクラム時間遅れを、試験結果の挿入時間に対しても、75%ストロークスクラムの目安値以内、1.62 秒以内であることを確認しております。
0:56:55	次に 13 ページ目をご覧ください。
0:56:58	燃料浮き上がりの検討をしております。
0:57:03	すサイズに上下地震動により燃料の浮き上がりについて検討しております。
0:57:09	JNESの機器耐力その 2 ではある検討用の加速度に対して、燃料集合体が燃料支持金具の深さよりも、浮き上がっ
0:57:22	浮き上がらず、脱落しないことを確認しております。
0:57:26	島根 2 号機の
0:57:28	鉛直方向の最大加速度は、機器耐力その 2 で検討した上下加速度よりも小さい加速度であり、
0:57:38	島根 2 号機においても、燃料集合体が燃料支持金具を脱落しないということが確認しております。
0:57:46	次に 15 ページ目をご覧ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:49	同様に期待力その 2 では、水平及び鉛直地震動による燃料の浮き上がりを検討しております。
0:57:57	16 ページ目をご覧ください。表 6 に液体X-2 で検討した上下地震動の最大加速度。
0:58:06	燃料集合体型の加速度の最大値、燃料集合体下端のせん断力の最大値を記載しております。
0:58:14	この値を用いて、水平方向及び鉛直方向の地震力を考慮しても、燃料集合体が、燃料しか使わざるスタイルを聞きたい理屈の 2 の報告書で検討しております。
0:58:28	これらの数値に対しまして指標 6 の方で島根 2 号機の数値を記載しており、全数値とも、その検討用の値よりも小さく、島根 2 号機においても、
0:58:39	水平及び鉛直方向の地震動を考慮しても、燃料の浮き上がりが生じないことを確認しております。
0:58:48	はい。
0:58:50	次に資料ナンバー3 をご覧ください。
0:58:54	制御棒駆動機構の耐震性について記載しております。説明いたします。
0:59:00	1 ページ目をご覧ください。
0:59:03	制御棒駆動機構は、
0:59:04	設計基準対象施設においてはSクラス、重大事故対処設備においては常設耐震重要重大事故防止設備に分類されます。
0:59:16	2 ページ目をご覧ください。
0:59:19	概略構造記載しております。
0:59:23	制御棒駆動機構ハウジングの下端フランジとの接合部であるフランジについて、耐震評価上、小さくなる性、最小板厚部位を肝とみなして評価を実施いたします。
0:59:40	次に 8 ページ目をご覧ください。
0:59:43	固有周期に関しては、
0:59:46	添付資料 6-2-2-1、炉心原子炉圧力要求及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎の地震応答計算書において、
0:59:57	CRDハウジングの保有周期を確認して、が、
1:00:01	ある、剛な領域であることを確認しているため、本計算書ではこういう地形、周期の計算は省略しております。
1:00:10	次に 9 ページ目をご覧ください。
1:00:14	構造評価の記載を説明いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:18	5 ポツ 1(3)で、耐震評価設計基準対象施設と、10 台、10 台中、事故対象設備の包絡条件で実施しております。
1:00:32	10 ページ目以降に荷重の組み合わせ及び許容力状態、協力使用材料の協力の評価条件を記載しております。
1:00:42	13 ページ目をご覧ください。設計用地震力を記載しております。
1:00:48	アスター4 アスター後には、設計用震度 1、または、これを生まれ震度と記載しておりますが、他のヒアリングコメントでいただいているコメントを反映しまして、どちらを適用してるか、今後、
1:01:01	記載して修正したいと思います。今回については設計用震度 1 を上回るシンドウを用いております。
1:01:10	14 ページ目以降に、計算方法、計算条件、
1:01:15	運転条件を記載しております。
1:01:20	21 ページ目をご覧ください。
1:01:23	評価結果としまして設計基準対象施設及び重大事故対象設備の評価を記載しております。発生値は影響限界を満足しており、
1:01:35	設計用地震力に対して十分十分な構造強度を有してることを確認しました。
1:01:42	次に、資料ナンバー4 をご覧ください。
1:01:46	制御棒駆動機構の耐震評価についての方針を記載しております。
1:01:51	1 ページ目の 1 ポツをご覧ください。制御棒駆動機構は、Sクラスであり、クラス 1 の耐圧バウンダリーと、スクラム機能を有しております。
1:02:02	2 ポツに記載している通り、クラス 1 耐圧バウンダリーに関しては、添付資料 6-2 の 6-3-1、今回の資料ナンバー3 の方で評価を実施しております。
1:02:15	3 ポツのスクラム機能に関しましては、
1:02:18	今回の添付し資料No. 1、
1:02:22	6、添付資料 6-2 の 6-2-1、制御棒の耐震性について経産省で、
1:02:28	確認をするという、構成になっております。
1:02:34	それではして資料No.5 をご覧ください。
1:02:38	水圧制御ユニットの耐震性について説明いたします。
1:02:43	1 ページ目をご覧ください。
1:02:45	水圧制御ユニットは、設計基準対象施設においてはSクラス、重大事故対象、施設Bに関しては、常設耐震重要重大事故防止設備に分類されております。
1:03:00	2 ページ目をご覧ください。
1:03:03	構造図のほうを記載しております。
1:03:06	構造図には、衛生水圧制御ユニットで耐震上、評価上厳しくなるフレーム及び取付ボルトについて記載しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:18	水圧制御ユニットについては、主体構造に記載している通り配管ユニット及び計装ユニット等の構成部品があり、フレームに取り付けられた構造となっておりますが、
1:03:29	評価部位がわかりにくくなるため、概略、構造図の方には、フレーム及び取付ボルトのみを記載しております。
1:03:40	次に5ページ目をご覧ください。MIへか11の出漁として、IがAからDまでの説明をしておりますが、評価の中では、Eまでありますので、
1:03:52	これについては修正したいと思います。申し訳ありません。
1:03:57	次に8ページ目をご覧ください。
1:04:00	4ポツに、地震応答解析及び構造評価を記載しております。
1:04:06	4ポツ1の(3)に、水平方向及び鉛直方向から抜く組み合わせについて記載しておりますが、これについては他のヒアリングでコメントしていただいている通り、
1:04:17	SRSSかとか知能絶対値をするかについて、明確にしたいというふうに思います。
1:04:24	今回につきましては、地震動についてはSRSSを用いて、リルトの組み合わせは、絶対値を用いている評価となっております。
1:04:37	9ページ目以降に、荷重の組み合わせ、及び狂言影響力状態。
1:04:43	協力及び使用材料の教育、許容応力評価条件を記載しております。
1:04:51	ここで10ページ目の協力については、
1:04:57	添付資料6の2-1-9の機能維持の基本方針からの抜粋としてAクラスに支持構造物及び重大事故退職事故等クラス21構造物を記載しております。
1:05:10	ボルト以外に関しましては、一次応力組み合わせと記載しておりますが、機能維持の基本方針におきましては、引張圧縮せん断曲げが書いておりますので、
1:05:22	ここについては修正したいと思います。申し訳ありません。
1:05:28	12ページ目をご覧ください。解析モデル及び所見について説明しております。
1:05:36	解析モデルは、13ページ目に記載しております。
1:05:41	図の4-1ですが、支店番号は、丸がついてない番号、要素番号はマルがついている番号の方を示しております。
1:05:51	また、②ですね、黒と白の黒の少し、三ツ橋がしているのが、計装ユニット、配管ユニット等の
1:06:02	荷重を示している絵を付加している部分を示しております。
1:06:08	また拘束条件に関しましては、出展番号1、2、
1:06:13	1078に関しては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:16	取付ボルトによって固定されております。より、
1:06:21	エース 3 方向の拘束を実施しております。
1:06:25	また、支店番号の 11 と 12 に関しましては、Uボルトによる固定をフレームと固定しておりますので、
1:06:35	フレームの軸方向、
1:06:38	軸直角方向を固定する法則条件としております。
1:06:46	次に 14 ページ目をご覧ください。固有周期を計算しており、こういう時期が 0.023 秒で剛構造であることを確認しております。
1:06:56	これについても他のヒアリングでコメントいただいている通り、剛な場合であっても一次の振動モードをつける、ということをするため今後追記したいと思います。
1:07:08	15 ページ目をご覧ください。設計用地震力を記載しております。
1:07:13	明日谷及び安田さんに設計助言 1 または、これを上回る震度と記載しておりますが、どちらを示すか明確に数字を修正いたします。
1:07:23	今回につきましては設計条件 1 を上回るシンドウを用いております。
1:07:29	16 ページ目以降に、計算方法を記載しており、18 ページ目以降に計算条件及び応力の評価を記載しております。
1:07:41	4 ポツ 8 ポツ 1 にフレームの応力の許容力を、4 ポツ 8 ポツ 2 取付ボルトの応力の協力を記載しております。
1:07:50	他のですねえと不満点におきまして、
1:07:53	10 ページ目の表 4-3 の協力と同じ営業力が記載しているのではないかというふうなコメントをいただいております。
1:08:01	ここにつきましては表 4-3、10 ページ目の協力はですね、今日寄付機能維持の基本方針から当該クラスの方、表を抜粋したものを記載しており、
1:08:14	10、18 ページ目 19 ページ目に関しましては、
1:08:18	その機能維持の基本方針で書いている協力を具体的にこの設備に適用した場合の影響力を記載しているため、この部分につきましては残したいという方針としております。
1:08:32	ただFTISFS等ですね、同じ記号を使って、
1:08:37	イタリックイタリックじゃないなんて、違いあるんですけども同じ記号ですね違う記号を表していることもありますので、
1:08:44	この応力評価の方のイタリックのFTに関しては例えばFTM等ですね、Sちよつと記号を変えることによりまして、混乱ないように修正したいと思います。
1:08:57	20 ページ目の方に機能確認済み加速度を記載しております。
1:09:02	21 ページ目以降をご覧ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:05	評価結果としまして設計用基準対象施設及び重大事故対象施設として、
1:09:11	構造評価結果、機能維持評価結果の記載、評価を実施しており、
1:09:18	設計用地震力に対して十分な構造強度を有し、動的機能を、についても維持できることを確認しております。
1:09:28	はい。藤の資料は以上になります。
1:09:33	中国電力青木です。続きまして、蓄電池及び高高度航空障害と菅関野。
1:09:40	耐震計算等の説明をさせていただきます。
1:09:43	説明の流れとしましては、まず、資料 6 を用いまして、適正化範囲を説明いたします。その次に、資料 7 を用いて、蓄電池の耐震性を代表で説明させていただきます。
1:09:55	最後に、資料 13 を用いて、高高度航空障害とカンセキの耐震性の説明をいたします。
1:10:01	まず、
1:10:02	第 2 回補正当初からの適正化内容を説明いたします。
1:10:06	資料 6 をご確認ください。
1:10:09	本日説明いたします資料 7 から資料 12 までの蓄電池の耐震性についての計算書に関しまして、漸次 22 点の適正化を実施いたしました。
1:10:20	内容につきましては、記載明確化が主体となっておりますので、本日この場での個別の説明は割愛させていただきます。
1:10:28	次に、資料 7 を用いて、蓄電池の耐震計算書について説明させていただきます。資料 7 をご確認ください。
1:10:38	230V系蓄電池RCICの耐震性について代表で説明いたします。1 ページ目をご確認ください。
1:10:47	一行概要に記載しております通り、230V系蓄電池RCICは、設計基準対象施設においては、Sクラス施設に、
1:10:55	重大事故等対処設備においては、常設耐震重要重大事故防止設備に分類され、それぞれに対して構造強度評価及び電氣的機能維持評価を行います。
1:11:06	また、6-2-1-14、機器配管系の耐震計算書の方法に記載の直立型盤に類するため、
1:11:14	同図書の添付資料 9 案の耐震性についての計算書作成の基本方針に基づき評価を実施いたします。
1:11:22	なお、この基本方針を読み込むことによって、記載の合理化を図っております。
1:11:27	また、同当初のヒアリング結果による適正化項目は、今後反映いたします。
1:11:33	2 ページ目をご確認ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:36	表 2-1 に構造計画を示しております。
1:11:40	こちらに示す通り、230V系蓄電池RCICは取付ボルトにてチャンネルベースに固定され、
1:11:47	チャンネルベースは基礎ボルト、ここではケミカルアンカを用いて、基礎に設置しております。
1:11:52	評価部位としましては、評価上厳しくなる取付ボルトと基礎ボルトを選定し評価を行っております。
1:12:00	さらに、概略構造図、下の表に記載しております通り、会計の異なる 4 個並びの議団 1 列のものと、3 個並びの 2 第 1 列のそれぞれを評価し、
1:12:11	結果をまとめる形としております。3 ページ目をご確認ください。
1:12:16	表 3-1 に示す通り、固有周期は、浦地区は等による振動を与える自由振動試験によりられた結果から、
1:12:25	剛構造であることを確認しております。
1:12:28	続いて 4 ページ目をご確認ください。
1:12:31	4.1 構造強度評価方法に示す通り、
1:12:34	6-2-1-14、機器配管系の計算書作成の方法、添付資料 9、ファンの耐震性についての計算書作成の基本方針に記載の耐震計算方法に基づき評価を行います。
1:12:47	続いて、荷重の組み合わせ及び、
1:12:50	許容力について説明します。
1:12:52	荷重の組み合わせ許容力状態許容力につきましては、表 1、4-1 から 4-3 に示しております。
1:13:00	ここでは使用材料について説明させていただきます。7 ページ目をご確認ください。
1:13:07	使用材料SS400 に対して、表 4-4 に、設計基準対象施設の、
1:13:13	評価条件を表 4-5 に、重大事故等対処設備の評価条件を示しております。
1:13:19	温度条件につきましては、想定される周囲環境温度が 40 度でございますので、そちらの 40 度を用いて評価しております。
1:13:28	次に 8 ページ目をご確認ください。
1:13:31	5.1 に、電氣的機能維持評価方法を示します。
1:13:35	蓄電池は 204601 において、装置に分類され、機能維持評価は、構造健全性を確認することとされておりますので、
1:13:43	230V系蓄電池RCICの機能維持評価は、支持構造物が健全であることの確認により行います。9 ページ目をご確認ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:54	6 項に評価結果を求めております。10 ページ目以降で詳細に説明いたします。10 ページをご確認ください。
1:14:03	10 ページから 14 ページにかけて、詳細の評価結果を示しております。
1:14:08	1.1、設計条件において、設計基準対象施設のを、評価条件をまとめております。右側に記載しております弾性用設計
1:14:18	弾性用設計を地震動SDまたは静的シンドウは、
1:14:23	設計やシンドウ 1、
1:14:25	または静的震度のいずれか大きい方を上回る設計シンドウを適用しております。
1:14:30	さらに基準地震動Ssに対しましては、設計用震度に基準地震動Ssまたは、基準地震動Ssを上回る設計シンドウを適用し、評価を行っております。
1:14:42	こちらにつきましては、今後適正化いたしまして、個別に評価に用いている地震力を記載するものとしております。
1:14:50	続いて、1.2 機器を無効ご確認ください。
1:14:54	下段の表の欄外注記アスタリスクに示しております通り、上段と下段にそれぞれ短編及び長編の要目を示しますが、
1:15:03	次のページ以降に記載する計算数値、結論は、根拠、右端の、
1:15:09	検討方向に記載の許容応力に対して算出応力が大きい側、つまり、評価の厳しい転倒方向のみ記載するものとしております。11 ページをご確認ください。
1:15:21	1.4 に結論をまとめております。
1:15:24	結論に示します通り、基礎ボルト及び取付ボルトにつきましては、算出応力に対し、すべて許容応力以下であることを示しています。
1:15:32	さらに支持構造物が健全であるため、電氣的機能を維持できることが確認できます。
1:15:38	12 ページをご確認ください。
1:15:41	こちらから、重大事故等対処設備の評価結果を求めております。
1:15:46	ただし、結果は先ほどの設計基準対象施設と同じでありますため、説明は割愛いたします。
1:15:53	続いて 15 ページをご確認ください。
1:15:56	こちらに計上の異なる 3 個並びの 2 段 1 列の評価結果をまとめております。こちら先ほどと同様で、記載の構成は、
1:16:05	変わりませんので、説明は割愛いたしますが、参照力はすべて協力以下であり、設計地震力に対して十分な構造強度及び電氣的機能の維持ができることを確認しております。
1:16:17	以上で資料 7 の説明を終わります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:20	なお、資料 8 から 12 につきましてはポイントを絞って説明いたします。資料 8 をご確認ください。
1:16:28	こちらは、B-115V系蓄電池の耐震性の説明です。
1:16:34	こちらにつきましては先ほど説明しました蓄電池同様に、設計基準対象セツツ及び重大事故等対処設備としての評価を実施いたしますので、説明を割愛いたします。
1:16:46	続いて、
1:16:49	ナンバー9 の資料をご確認ください。
1:16:52	こちらは、B1、115V系蓄電池の耐震性についての結果です。こちら先ほどと同様に、評価の方法等は変わりありませんので、説明を割愛いたします。
1:17:05	続いて、No.10 の資料をご確認ください。
1:17:09	こちらはSA用 115V系蓄電池の耐震性の結果となります。
1:17:14	1 ページ目をご確認ください。
1:17:17	1 概要に示します通り、西洋 115V系蓄電池は、重大事故等対象設備においては、常設耐震重要重大事故と事故防止設備及び、
1:17:29	常設重大事故緩和設備に分類されるため、
1:17:32	こちらでは、重大事故等対処設備としての評価のみを実施いたします。
1:17:38	2 ページ目をご確認ください。
1:17:40	表の 2、表の 2-1 行動計画に示します通り、
1:17:45	基礎分に若干の先行からの変更がございます。
1:17:49	チャンネルベースの下の部分に後打ちプレートが設置されておりまして、こちらをケミカルアンカで固定する形としております。
1:17:58	ただし、評価部位としましては、厳しい部位を選出して評価しておりますので、評価部位は変わらず、取付ボルト及び基礎ボルトとなっております。
1:18:10	その他の部位については特に変更ございませんので、説明を割愛いたします。
1:18:15	続いて、資料 11 をご確認ください。
1:18:19	こちらは、高圧炉心スプレイ系蓄電池の耐震性の結果となっております。
1:18:24	2 ページ目をご確認ください。
1:18:28	表 2-1、行動計画にします。示します通り、
1:18:31	大津炉心スプレイ系蓄電池は、基礎に埋め込まれたチャンネルベースに取付ボルトで設置する形としております。
1:18:38	こちらの違いがございまして、評価としては厳しくなる取付ボルトのみを評価する形としております。
1:18:45	その他は変更ございませんので、説明は割愛いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:49	続いて資料 12 をご確認ください。
1:18:53	こちらは、原子炉中性子計装用蓄電池の耐震性になります。
1:18:58	こちらは先ほど説明しました。
1:19:01	資料 11 と内容は同様ですので説明は割愛いたします。以上で蓄電池に関する説明は終わります。
1:19:08	続きまして、資料 13 をご確認ください。
1:19:12	高度航空障害と完成機の耐震性について説明いたします。
1:19:16	1 ページをご確認ください。
1:19:19	1、概要に示しております通り、高高度処遇の航空障害とカンセキにつきましては、6-2-11-1、波及的影響を及ぼす恐れのある下位クラス施設の、
1:19:30	対人背評価方針に基づき、
1:19:33	設計用地震力に対して十分な構造強度を有していることを確認することで、隣に設置された上位クラス施設である排気塔に対して波及的影響を及ぼさないことを評価しております。
1:19:45	2 ページ目をご確認ください。
1:19:49	表の 2-1 に、行動計画を示しております。
1:19:53	こちらにあります通り高高度航空障害とか請求は基礎ボルトで基礎に設置しております。
1:19:59	続いて、
1:20:01	3 ページ目をご確認ください。
1:20:03	図の 2-2、高度航空障害とカンセキの耐震評価フローを示します。
1:20:09	保有周期を求めた上で設計用地震力を設定し、応力算出の上盤の構造強度評価を行います。
1:20:16	なお 4 ページ目以降は、個別の耐震計算書の形でまとめておりますが、先ほど説明いたしました蓄電池と同様の項目も多いため、そういう箇所のみ説明いたします。
1:20:26	7 ページ目をご確認ください。
1:20:30	3 号に評価部位を示します。5.1、構造強度評価方法に示す条件に基づき、耐震評価上厳しくなる基礎ボルトについて評価することとしております。
1:20:40	続いて、表 4-1 をご確認ください。
1:20:44	コード表航空障害等カンセキの固有周期はプラスチックハンマー等による当該設備シンドウ与える自由振動試験によってえられた結果から、
1:20:53	水平方向の固有周期は 0.05 秒を超えており、中構造であることを確認しております。
1:21:00	続いて 9 ページ目をご確認ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:06	表 5-1 及び表 5-2 は、6-2-11-1、波及的影響を及ぼす恐れのある下位庫施設の耐震評価方針に従い設定しております。
1:21:17	また、屋外設備であるため、課税及び積雪の荷重の組み合わせとして考慮しております。11 ページ目をご確認ください。
1:21:27	企業材料札 304 に対して、
1:21:31	温度条件は、想定される周囲環境温度 40 度に対して、保守的に 50° と設定しております。
1:21:37	さらに、表 5-6 及び表 5-7 に、それぞれ、6-2-1-9、機能維持の基本方針に基づき、風及び積雪評価に用いる
1:21:48	基準速度圧と、
1:21:50	積雪荷重を設定しております。
1:21:52	12 ページ目をご確認ください。
1:21:56	表 5-8 に設計地震力を示します。
1:22:00	なお、水平方向は、重構造のためこういう周期に応じた設計床応答スペクトル I の読み値を用いています。
1:22:08	鉛直方向は、設計をシンドウ 1、基準地震動 S _s を用いて評価するものとしております。
1:22:14	なお適用した設計用地震力につきましては今後適正化で明記するものいたします。
1:22:20	14 ページをご確認ください。
1:22:24	こちらに計算式を示しておりますが、
1:22:27	5.4. 1.1. 1 式 5.4. 1.1. 4 式及び 5.4. 1.1. 5 式につきまして、
1:22:37	引張力、FB剪断 69B及びせん断応力度について、適切に積雪及び風荷重を考慮したものとしております。
1:22:48	16 ページ目をご確認ください。
1:22:52	6 行に評価結果をまとめております。詳細は 17 ページ目以降に示します、17 ページをご確認ください。
1:23:01	先ほど説明いたしました蓄電池のように計算結果を記載しております。
1:23:07	いっぺんに機器をもご確認ください。
1:23:09	下段表の欄外注記 *1 に示す通り、1010 日は保守的な設定としております。
1:23:18	続いて 18 ページ目をご確認ください。
1:23:22	1.4 結論に示す通り、基礎ボルトは算出応力に対してすべて許容応力以下であることを確認しております。
1:23:29	この結果、隣に設置された上位クラス施設の排気塔に対して波及的影響を及ぼさないことを確認しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:37	説明としては以上になります。
1:23:45	はい、規制庁ですありがとうございます。では、質問のある方、お願いします。
1:23:54	はい。規制庁のウタガワです。①の資料の、
1:23:59	6-2621 制御棒の体制値の計算書の 5 ページをお願いします。
1:24:06	5 ページには、75%ストロークスクラム時間が 1.62 秒以内というふうに、
1:24:15	これを基準にして評価をされていますけれども、
1:24:19	この 75%というのが、使用中通常のスクラム仕様値というふうに、仕様内ではどこかで説明されていたんですけども、
1:24:30	この 75%で良いのでしょうか。例えば、残りの 25%はどうするとか、
1:24:37	そのあたりについては、どのように決めているのか、説明いただけますでしょうか。
1:24:46	中国電力の石垣です。
1:24:48	地震時のですね通す用いている定常の運転時のスクラムスクールストロークスクラム時間 1.62 秒に関しては、定常の状態ということで目安として使っております。
1:25:02	実際に安全解析におきまして、カトウのスクラム時間というのを計算しております、それをベースに、低角のスクラム時間というのを、
1:25:12	計算して用いて目安として 72%が入れば、地震時においては、問題ないということで、目安として従来から使っております。以上です。
1:25:26	はい、わかりました。75%まで入れば、大丈夫だということで、わかりました。
1:25:33	あと、念のため確認ですけれども既工認からも、この値ということでよろしいですかね。
1:25:41	中国電力の石垣です。既工認からこの値を基準値を目安として用いております。以上です。はいわかりました。
1:25:56	②番の資料の 8 ページをお願いします。
1:26:00	8 ページには、ボロンカーバイド型制御棒で下側にハフニウムを、
1:26:08	確認を制御棒がありますけれども、
1:26:12	ここで
1:26:14	摩擦力なんですけども、2 種類でかなり大きく違っているんですけども、この理由について説明いただけますでしょうか。
1:26:26	はい。中国電力の石垣と申します。6 ページ目の表 3 のナンバー 5 の下側をご覧ください。
1:26:35	制御棒水平地震力に摩擦に関しましては、企業評価の 34 ミリ、30、既往評価の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:45	摩擦力に対しまして島根 2 号機で用いている制御棒の剛性の比を乗じております。
1:26:53	ここでボロンカーバイドだと、 hafnium 型を比較しますと、ボロンカーバイド型の方が、制御棒の剛性、断面二次モーメントが大きくなるため、
1:27:04	摩擦力が大きいという仮定評価結果になっております。以上です。
1:27:12	その剛性が高いことで、摩擦力が大きいとする例ってというのは、よくやられる手法なんですか。
1:27:24	はい。中国電力、石垣です。制御棒挿入時に、燃料集合体がこの字型に変位することによって、接触するということになります。
1:27:35	同じ燃料費閉の場合で、制御棒の剛性がかたいと、制御棒が入るときにその燃料集合体を押しつけてですね、アース制御棒が保科燃料集合体を押しつけて、
1:27:47	入っていくという形になります。そのときに剛性がかたい方が、反力抗力が大きくなりますので、摩擦力が大きいという結果になります。
1:27:58	この評価手法は、先行プラントでも同じような評価の仕方を実施しております。以上です。
1:28:05	はい。わかりました。
1:28:11	③番の資料ですけれども、③番の資料、
1:28:17	あと 17 ページと 18 ページで、それぞれ対応しているんですけども、1. 17 ページの
1:28:25	運転状態 I 及び II の上から、
1:28:29	5 行目、定格出力運転括弧単位で制御スクラムというのが、
1:28:37	18 ページの図 5-2(2)、
1:28:43	運転条件図の停止と同じ意味でしょうか。ちょっと
1:28:49	ここだけ
1:28:51	運転条件の名称が合っていないように見えたんですけども、ちょっと念のため確認ですけれども、いかがでしょうか。
1:28:58	中国電力の石垣と申します。申し訳ありません。兵頭当該部コメントされた部分がちょっとなかったためもう一度コメントしていただけるようお願いいたします。
1:29:10	はい。
1:29:12	③番の資料の
1:29:16	17 ページ、表 5-9 の運転条件。
1:29:21	のところでですね。
1:29:23	18 ページのす。
1:29:26	運転条件図の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:28	表、それぞれ
1:29:30	運転目。
1:29:32	運転条件という名称と、運転名称という書き方をされていますけれども、
1:29:42	表、
1:29:43	17 ページの表 5-9 の上から 5 行目に、定格出力運転括弧単一制御棒スクラム、括弧閉じというのがあるんですが、これが、
1:29:55	18 ページ。
1:29:57	で示されている、図の 5-2(2)の、
1:30:02	停止と同じ意味でしょうか。
1:30:05	いかがでしょうか。
1:30:09	中国電力志垣です少々お待ちください。
1:30:23	中国電力石垣です。今すぐ確認できませんので通り、別途各説明させていただけるようお願いいたします。以上です。
1:30:34	はい、わかりました。
1:30:36	5 番の資料をお願いします。5 番の資料の 24 ページに、
1:30:43	家、
1:30:44	計算数字のまとめが示されていますけれども、表のところにですね弾性設計を地震動SDまたは静的振動、
1:30:55	による荷重との組み合わせの場合、
1:30:58	と書いてあるんですけども、
1:31:00	これは地震動と他に何を組み合わせているのでしょうか。
1:31:16	中国電力、石垣です。表、この 24 ページ目の表の荷重方向をご覧ください。XYZのところに地震動の記載がありましてその下に自重とあります。
1:31:31	この部分が、次 10-9、地震動以外との組み合わせとなります。以上です。
1:31:41	はい。念のため確認ですけども、自重というのは、地震動と他にも、
1:31:49	地震動ではない荷重として自重が含まれているっていうのはわかりますけれども、
1:31:56	このXとYとZというのは、
1:31:59	地震動以外の荷重としてどのような、
1:32:02	発生要因なんでしょうか。
1:32:20	中国電力イシガキです少々お待ちください。
1:32:43	中国電力石垣です。XYZは地震動による荷重、及びモーメントの発生値が、この表の方に記載されております。以上です。
1:32:56	はいわかりました。
1:32:57	とすると表の上のところにある組み合わせっていうのは、自重と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:03	組み合わせているとそのような意味合いということによろしいでしょうか。
1:33:09	はい。中国電力石垣です。はい。地震動と自重との組み合わせを意味しております。以上です。
1:33:21	はい。
1:33:21	はい。説明はわかりました。
1:33:24	最後ですけれども、13 番の資料の、
1:33:28	11 ページに、
1:33:32	風速と積雪による加重示されていますけれども、そもそもの風速の設定値ですとか積雪高さというのは、
1:33:42	どこかの資料に示されているという理解でよろしいでしょうか。
1:33:57	中部電力青木です。機能維持の基本方針から引用してる形になってございます。以上です。
1:34:04	はい。説明は理解しました。私からは以上です。
1:34:12	中国電力、石垣です。すいません先ほどコメント質問いただいた資料ナンバー、A3 の制御棒駆動機構の耐震性の
1:34:22	17 ページ目と 18 ページ目の件ですけれども、
1:34:26	17 ページ目の方には、定格出力運転ということで、制御棒駆動機構の隔離と、単一制御棒のスクラムということで、
1:34:36	この両者につきまして繰り返し繰り返し回数、 <input type="text"/> という形で別々に記載しております。それに対しまして、
1:34:46	すいません。
1:34:47	マスキングをしゃべってしまいましたらちょっと言い直させてください。
1:34:52	規制庁、大江です。今マスキング箇所は削除いたします。
1:35:00	中国電力石垣です。先ほど質問のありました、資料ナンバー3 の、
1:35:07	計画出力の運転、単位スクラム制御棒スクラムと、18 ページ目の図 5-2 の(2)、との関係です。
1:35:17	ご説明させてください。
1:35:21	表 5-17 ページ目の表 5-9 に関しましては低角するということで、制御棒駆動機構隔離と、単一制御棒の繰り返し回数を記載しております。
1:35:32	どちらも定格出力時の運転ということで、図の 5-18 ページ目の図 5-2-(2) に関しては、
1:35:43	C-12 のところですね、定格出力運転というところに、その両方のイベントが入っている形になっております。以上です。
1:36:00	はい確認ですけれども、18 ページの衛藤さん。
1:36:05	定格出力運転の横にある停止というのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:09	17 ページで誘導、どこに当たるんでしょうか。
1:36:14	中国電力の石垣です。停止 2 課つきましては、表 5-9 に関して運転条件の回数を記載しております、この停止部分につきましては回数がないので、
1:36:27	表 5-9 の中には含まれておりません。以上です。
1:36:34	はい。
1:36:36	はい説明は理解しました。私からは以上です。
1:36:41	すいません中国電力青木です。すいません先ほど 13 番の資料でご質問いただきました件について、追加の補足をさせていただきます。
1:36:51	藤田添積雪の荷重に用いる数値につきましては、
1:36:55	6-2-1-9 基本維持の基本方針にも記載してございますけども、8 ページ目の 5.2. 4、風荷重のところに風速を、
1:37:05	5.2. 5 積雪荷重のところに、積雪の高さと、それに用いる係数を記載してございますこちらはどちらも機能維持の基本方針から引用しているものになります。以上です。
1:37:18	はい。規制庁田川です。はい説明理解いたしました。私からは以上です。
1:37:26	はい、ほかにコメントある方、お願いいたします。
1:37:46	規制庁駅です。
1:37:48	資料ナンバー1 番についてお願いします。
1:38:04	まず 1 ページ。
1:38:08	なんですけど、ちょっと気さに関わるんですけど、
1:38:14	1 ポツの概要、
1:38:23	第 3 段落目ですか。なお、
1:38:27	ボロンカーバイド型制御棒。
1:38:32	ええ。
1:38:33	及び、
1:38:35	云々とかで、
1:38:38	その下に今度、
1:38:42	ハフニウム型、一方です回答ハフニウム型制御棒とか、
1:38:47	という説明があって、
1:38:53	なんか、なお以降ですね、唐突に何か、
1:38:58	二つのカーターの制御棒について、
1:39:01	説明しているんですけど、
1:39:06	ちょっと私の読み方がおかしいのかもしれないんですけど、
1:39:12	まず
1:39:14	直の前にそもそもこの島根 2 号のこの評価について、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:20	ボロンカーバイド型とハフニウム型、
1:39:24	脳性票二つあってそれについて評価するとか、
1:39:29	何かそういう説明がまず最初に、
1:39:33	あった方がいいような気がするんですけど、いかがでしょうか。
1:39:39	はい。中国電力石垣です。ご指摘の通りまず評価対象両スポン会話技製予防、ハフニウム型制御棒があった方が良くと思いますので、適切に修正したいと思います。以上です。
1:39:53	規制庁ウエキで3合意します。
1:39:58	2ページですね、
1:40:03	右側の概略構造図のところちょっと制御棒案内管、
1:40:09	もうちょっとさ示し、
1:40:12	言った方がわかりやすいかなと思ったんですけどいかがでしょうか。
1:40:17	はい。中国電力志垣です。制御棒案内管があった方が良くと思いますので凍土壁追記いたしたいと思います。以上です。
1:40:26	成長域で存在しますとあと3ページなんですけど、
1:40:33	この3ポツの前に、
1:40:38	評価方針というか、この挿入性の評価をどうやって評価するかという、
1:40:46	ことについて、フロー図も含めてですねちょっと簡単に説明が、
1:40:52	あった方がいいのかなと思います。で、
1:40:57	たとえば一んとす。3番の資料、生母棒駆動機構の
1:41:03	耐震性の経産省に関してはこれは、
1:41:07	構成としては1ページに一般事項立って、2.1、構造計画でそのあとに3ページとして、評価方針ということで、
1:41:18	このフロー図も含めてですね。
1:41:20	こういうふうの評価するという説明が、
1:41:23	あるんですけど、ちょっとこの挿入性に関しては、
1:41:28	その説明がないので、
1:41:31	入れてもらうわけにいかないでしょうか。さっき補足説明資料の方で、
1:41:38	フローズ含めてと説明が書いてあったと思うんですけど、やはりちょっとこちらの添付書類の方にもですね、
1:41:47	それがあった方が、そのような内容があった方がいいと思うんですけどいかがでしょうか。
1:41:56	中国電力石垣です。補足説明資料の方のフロー等を踏まえ、必要かどうか検討してはい。
1:42:10	必要に応じて修正したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:13	規制庁駅です。お願いします。
1:42:20	そうですね多分1ページの1ポツの概要のところも特に評価法は書いてなくて、3ページに、
1:42:30	遠い。
1:42:31	いきなりその燃料集合体の地震応答解析っていうのが出てきて、
1:42:37	4ページで挿入性試験とかっていうのが出てきて、ちょっとこの全体が把握できないっていうかそんとういう評価をするのかっていうのが、
1:42:46	まずあった上で、
1:42:48	燃料集合体の地震応答解析とか試験の話が出てきた方が、
1:42:53	わかるので、
1:42:56	検討をお願いします。
1:42:59	それと、はい。
1:43:01	先ほどの5、5ページでですね75%ストローク1.62秒。
1:43:09	について確認がありますけど、これって何か出展、
1:43:13	設置許可申請しようなんだと思うんですけど、そのところに記載されてるとかっていうのは書けないでしょうか。
1:43:25	はい。中国電力石垣です。設置救済下に記載がありますので出典等引用したいと思います。以上です。
1:43:34	規制庁江田さんお願いします。あと5ページの
1:43:39	表4.1なんですけど、ここに燃料集合体。
1:43:44	Aの説明があるんですけど資料茂木で、ここにですね、
1:43:52	チャンネルボックスの板厚。
1:43:56	もうちょっと記載していただきたいんですけど、
1:44:02	これ、
1:44:03	相対変位、
1:44:05	に応じて挿入時間が変わるとでそのそ、相対変位ってそのチャンネルボックスの板厚。
1:44:13	によって、結構変わってくるので、ちょっと島根に関して、板厚がどうなのかっていうのを記載していただきたいんですけど。
1:44:25	中国電力石垣です。はい。チャンネルボックスの板厚を追記いたします。以上です。
1:44:35	すいません規制庁大野です。ちょっと先ほどですね、ええ70%をストロークスクラム時間の話があったんですが、
1:44:45	これってテンパちいに時間が書いてあってそこを引用すると思うんですがそういう理解でよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:01	少々お待ちください。
1:45:06	規制庁のです。すいません江藤とテンパチにあることを確認しなくてもいいんですが、ちょっとですね裁判の関係で1点ですね論点だったことがあります、
1:45:18	天発に書いてあるこの何十パーセントをスクラムの時間って、これ、通常状態で実は地震時には必ずしも守らなくていい値だったと思います。
1:45:29	地震時にはですねこの時間を超える、挿入時間を超えるところが、Pなんで自由落下なんでちょっと違うんですけどあります、そこについて地震時にもこの入力時間、挿入時間を守らなきゃいけないんだっていうのが論点になってですね結構もめたことがあります、
1:45:46	テンパチからに書いてあることを運用するのはいいんですけど、地震時の挿入時間の基準としての値ではないことはわかるようにちょっと記載していただければと思うんですがいかがでしょうか。
1:46:01	はい。
1:46:02	中国電力石垣です。この1.6、2秒ですけども、あの点は、テンパチか点字が確認いたしまして引用いたします。
1:46:13	また、1.62秒低角のストローク時間はこれ目安として用いておりますので規定値ではないというふうに認識しております。このことがわかるように、
1:46:25	目安として用いる等の記載に修正したいと思います。以上です。
1:46:31	ありがとうございます。
1:46:34	規制庁だけです。土肥。今の話ですね私もちょっと後で言おうと思ったんですけど11ページG2、
1:46:44	5. 一井の一番最後のところにですねスクラム目安時間を超えることはないここに、
1:46:53	初めてスクラム目安時間という言葉が出てきて、るので、今のコメントを踏まえてですね、
1:47:02	5ページのところに、重要して地震時も使うみたい、これをスクラム目安時間というとか。そういうことを、
1:47:15	記載し、
1:47:17	すべきかなというふうに私も思いました。
1:47:23	はい中国電力石垣です。はい。5ページ目の1.62秒のところにも、スクラム目安時間ということに記載したいと思います。以上です。
1:47:35	規制庁伊井です11ページの方はもう、前の方で一応定義すれば、11ページにスクラム目安時間っていうのを、もうそれはそのまま使ってますけど5-5、5ページのところですねここに、
1:47:51	スクラム目安時間というのを定義、あわせて定義すべきだと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:57	よろしいですか。はい。はい。中国電力石垣です。承知いたしました5ページ目にSクラス目安時間というのを提示して、記載いたします。以上です。
1:48:08	5ページ。
1:48:11	規制庁ウエキですお願いします。
1:48:17	7ページの試験層ちいの前なんですけど、ちょっとこれは教えていただきたいんですけど、
1:48:30	左側の絵にあるように油圧加振機で、
1:48:35	よう聞き
1:48:38	容器を、
1:48:41	加振して、これは下がピン支持で上がフリーで、このところを加振。
1:48:50	すると、
1:48:53	圧力様、容器が
1:48:58	加振されてそれに伴って、
1:49:02	何名かの
1:49:05	燃料集合体。
1:49:07	模擬燃料集合体が、
1:49:10	触れて、
1:49:12	そうそう大変が生じると、そういう仕組みと理解してよろしいでしょうか。
1:49:20	はい。中国電力、石垣です。ご認識の通りです。以上です。
1:49:26	規制庁、小木曾わかりました。ちょっと当たり前の質問かも質問かもしれないんですけどこれは、容器の外側を押さえて、加振して、
1:49:38	燃料集合体自体は、
1:49:42	特に、
1:49:46	上端下端で、
1:49:48	PCG
1:49:49	上部格子盤と炉心支持盤で支持されていて外側の容器が触れることによって、
1:49:55	燃料集合体が振れる。
1:49:59	という理解でよろしいんですか。
1:50:03	はい。中国電力石垣です。ご認識の通りです。油圧加振機の方で要求をしまして、燃料集合体には上部コスパ後地盤から加速度が入ります。
1:50:15	燃料集合体は、水中で完成加振でどうどうするという構造になっております。以上です。
1:50:23	規制庁植木です。はい、わかりました。
1:50:26	それで、4ページ、4.2の試験方法のところですね、2行目に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:35	油圧加振機により試験要求を開始して、
1:50:39	燃料集合体を強制加振するというふうに、
1:50:44	と書いてあるんですけど、
1:50:48	のようなやり方っていうのはやっぱり強制加振っていうふうと呼ぶ、余分んでしようか、何か関数完成か人のようにもう燃える。
1:50:59	燃料集合体にとっては、
1:51:02	慣性加振のように、もう覚えるんですけど、これは競争、これ、こういう場合も共済歌人っていうんですか。
1:51:12	中国電力石垣です。先ほど私も完成加振と言ってしまったんですけども、感染管理の方が正しいと思いますのでこの部分は強制加振から活性化指針に修正したいと思います。以上です。
1:51:25	規制庁池です。
1:51:28	これって、この強制加振でやる場合もある、あるんですか何か燃料集合体を掴んで、強制的に変位を与え、
1:51:38	でやるっていうようなやり方も、
1:51:42	あるんですか。
1:51:45	中国電力、石垣です。古本試験の方はメーカーの方で実施しておりまして、当該メーカーにおいては、燃料集合体を直接間で発信するという方法はとっておらず、
1:51:58	容器等を貸しへ投下して燃料集合体に関西加振でやる方法のみを使っているというふうに認識しております。以上です。
1:52:09	規制庁日置です。わかりました。
1:52:12	何か強制加振挿入性の試験で強制加振っていう、
1:52:19	やり方もうちよつと細かいやり方はわかりませんが、何か言葉として聞いたことがあったので、
1:52:30	地シンドウ台に乗せる乗せてやるやつを完成加振とって、
1:52:37	何か圧力容器を強制的に
1:52:43	加振機でこういう言いますので、そのやり方をもって強制か人と言ってるのかなあとも思ったりして、したんですけど、これは、
1:52:55	菅菅生家人ということでもいいんですか。
1:53:00	中国電力、石垣です。他のメーカーとか、島根 2 号機ではないんですけども、他のメーカーとかでは、燃料集合体を直接ですわ掴んで振るという方法も聞いたことはあります。
1:53:15	その場合には強制加振というふうに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:19	言うと思います。強制加振の場合は基本、変位制御のような形になると思います。今回の場合は、あくまでも慣性加振燃料球を振って、
1:53:30	その加速度が上部工柴野新芝に入って、燃料が、慣性力で応答するという意味ですので、誤解を招かないよう関西加振というふうに言った方が正しいというふうに思うので、
1:53:43	そのように修正したいと思います。以上です。
1:53:46	規制庁池沢わかりました。
1:53:49	あとですねあごめんなさい、さっきちょっと5ページに戻ってチャンネルボックス板Ⅱの質問したんですけど、ちなみに菱沼根井2号機は、
1:53:59	何、何ミリでしょうか。
1:54:06	中国電力石垣です。120ミリのチャンネルボックスになっております。以上です。
1:54:12	規制庁池です。はい、わかりました。
1:54:16	それは
1:54:18	100ミリチャンネルルーが多いと思うんですけど120にした。
1:54:24	ていうのはあれですか、建機建設時に結構その相対変位が厳しいので、
1:54:31	この120見るチャンネルを使ってるっていう。
1:54:35	理解でよろしいですか。
1:54:44	中国電力石垣です。建設時に、燃料等検討しまして120mmの方が、湯いというふうに判断して採用しております。以上です。
1:55:00	規制庁大池です。はい、わかりました。
1:55:06	そうです。
1:55:08	阿藤。この資料に関しては以上です。あと、3番、丸さんの資料、
1:55:19	番号がN-S2.2-008-03ですね制御棒駆動機構の耐震性の経産省。
1:55:28	ですけど、
1:55:31	等、
1:55:35	2ページにですね
1:55:42	主体構造の説明で、水圧駆動ピストンら。
1:55:48	G方式っていうふう書いてあるんですけど、ちょっとこれがどういうものなのかっていうのが、
1:55:58	概略構造図マスキングなんですけど、ちょっと図を見てもよくわからなくて、
1:56:04	んですけど、
1:56:07	ちょっと多分この主体構造の説明とこの概略構造図だけの説明。
1:56:14	だけど、どう、制御棒駆動機構がどう、どういうものなのかっていうの多分、全くわからないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:22	説明を加えてもらうことはできます。
1:56:27	はい。中国電力石垣です。主体構造につきまして構造がわかるような内容を記載したいと思います。以上です。
1:56:37	規制庁池です。お願いします。
1:56:40	多分その説明を加えると概略構造図もそれなりに変わってきて、今、多分その、
1:56:47	ばンダリーの機能維持評価。
1:56:52	として、外径の構造を変えてるんだと思うんですけど、
1:56:57	本当。
1:56:59	ちょっと今の言っちゃいけない。
1:57:03	ちょっと検討をお願いします。
1:57:07	それから、
1:57:12	あとですね、14 ページですね。
1:57:17	ちょっと基本的なことを教えてもらいたいんですけど。
1:57:23	この 14 ページの
1:57:26	5.4. 1 の、
1:57:29	可児紗代図モーメントのMEの式があるんですけど、
1:57:34	この式の意味がちょっとよくわからなかったの、
1:57:38	説明お願いしますこの再編た、辺野古の。
1:57:44	分の左側にある子、これ分数の、
1:57:48	式の意味がちょっとよくわからなかったの、
1:57:55	中国電力、石垣です。
1:57:58	これ評価としまして、地震荷重の方はモーメントで評価しております。他の機械荷重の方面とで評価しております。
1:58:09	これに合わせるために、
1:58:11	FM。
1:58:14	これは、間に作用する鉛直方向の荷重なんですけれども、これを他の機械荷重やモーメントと合わせるためにモーメントの形で、
1:58:25	置き換えるということをやっております。
1:58:28	この図 1 の上の方見ていただくとわかる通り、FMは鉛直方向にかかる荷重なんですけれどもそれを等価なモーメントとして置き換えて、
1:58:38	おります。そのFMの前のケースのところはそのモーメントに変換する式になりまして、モーメントで他の荷重と合わせて評価に用いております。以上です。
1:58:51	規制庁植木です。
1:58:56	ちょっとすごい基本的な質問で申し訳ない。58 で 0 分のこのん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:01	事情。
1:59:03	ていうのが、
1:59:05	ちょっと意味がよくわかんないので近い
1:59:11	もういいんですけど、ちょっとここ0、モーメント2をどうやって置き換えてるのかと。
1:59:16	説明。
1:59:19	紙で説明してもらえるとありがたいんですけど。
1:59:24	はい。中国電力石垣です。式 5411 の 8 分の、D02 条等の、この式の算出につきまして、
1:59:35	別途説明したいと思います。以上です。
1:59:40	規制庁池です。よろしくお願ひします。先行でも使ってる志岐今から使われてる。
1:59:46	だと思うのでちょっと申し上げ、大変申し訳ないんですけどよろしくお願ひします。
1:59:53	あと 15 ページなんですけど、
1:59:57	(5) のですね疲労累積係数、
2:00:01	これ一の
2:00:05	例えば地震分外幾つで地震以外の分は幾つとか、これ等価繰り返しか、地震の等価繰り返し回数は、何か□回を使っているのかとか、
2:00:21	いうところが、
2:00:24	後の結果の方も多分、
2:00:31	書いてないような気がし、
2:00:37	疲労の評価があれですか、24 ページ。
2:00:44	下から二つ目の表でNi906。
2:00:50	□回というのがあって、失礼しました。
2:00:55	今の部分、マスキングサクショウいたします。
2:01:01	規制庁エキス 24 ページの下の注記なんですけど、
2:01:09	運転回数の設計を次自身繰り返し回数□、
2:01:14	□、
2:01:15	甲斐。
2:01:17	ここで、あれですね、Ss に対する、
2:01:24	繰り返し回数分、
2:01:26	150 回ということ。
2:01:28	理解で、残りの分が、
2:01:33	運転の回数ってということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:37	ここに書いてあるということでよろしいです。
2:01:42	はい。中国電力石垣です。はい。ご認識の通り、17 ページ目の運転条件の回数と、24 ページ目の中期朝一の回数を加えた回数ということで問題ありません。以上です。
2:01:57	規制庁でください。わかりました。
2:02:03	それから、
2:02:25	ちょっと飛んでですね、
2:02:29	7、7 番。
2:02:31	蓄電池の方お願いします。
2:02:42	7 番の資料。
2:02:46	資料番号はN-S2. の 010。
2:02:51	29
2:02:54	RCICの蓄電池、
2:02:58	けど、
2:03:15	規制庁駅ですいません。えっとですね。
2:03:18	すいません。
2:03:21	違う、蓄電池はごめんなさい。
2:03:26	と、
2:03:27	資料 10、
2:03:29	No。
2:03:30	SA用の蓄電池の耐震性についてのケース参照。
2:03:38	番号がN-S2-添 2-010、33。
2:03:44	ちょっと聞き漏らしたんですけど、
2:03:48	2 ペイジー
2:03:59	ここはあれですかマスキングはこの表の中の数あれですか、数字。
2:04:05	がマスキングってということで、概略構造自体をマスキングではないということでよろしいん。
2:04:14	中部電力青木です。はい、ご理解の通りです。問題ありません。以上です。規制庁池です。ありがとうございます。それで
2:04:24	これ後で
2:04:26	固定の方法が、確かちょっとその前の蓄電池と違うってということで、
2:04:33	まずお聞きしたかったのがこれ、基礎ボルトのところに、
2:04:40	ケミカルアンカーですけど、基礎ボルトのところに下に何かプレイ等のようなものが、
2:04:49	あるあり、あります。これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:53	じゃあ何なのか。
2:04:55	ていうのをちょっと教えていただきたいんですけど、先ほどの、
2:05:04	7番。
2:05:05	7番の、
2:05:07	資料の、
2:05:11	2ページの小構造計画の方を見ると、ここはチャンネルベースがあつて、基礎ボルトが
2:05:20	下の方にあるんで、こちらの方は何かプレートがなくて、
2:05:25	10、10番の方の蓄電池は、この下に何かプレートのようなものがあるんですけど、これは何か違いがあるんでしょうか。
2:05:39	中国電力青木です。はい。構造に違いがございまして、
2:05:43	こちらのですね、資料No.10の蓄電池につきましては、あとうちのプレートを床面に設置しておりまして、そちらに、とチャンネルベースを溶接で取り付けているような状況になってございます。以上です。
2:06:02	規制庁大池です。わかりましたプレートを、この基礎ボルト、
2:06:08	ケミカルアンカーで、
2:06:11	プレートを止め、
2:06:13	固定してそこにチャンネルベースを溶接して、
2:06:18	つけてますので一方、前のやつは、
2:06:22	これもケミカルアンカーなんだけれども、
2:06:29	失礼、7、7番の方ですね⑦の方はこれもケミカルアンカーなんだけど、
2:06:35	チャンネルベースから直接、
2:06:39	ケミカルアンカーで躯体に、
2:06:42	固定してると、そういう違いがあるってということですか。
2:06:47	中国電力青木です。はい、ご理解の通りです。以上です。
2:06:52	規制庁植木です。
2:06:54	えっとですね、ちょっと多分この基礎支持構造の説明を見ると、全く同じ文章が多分かい。
2:07:05	の違いがちょっとよく説明。
2:07:09	この文章からわからないんですけど、ちょっとそれは、
2:07:14	わかるようにしていただきたいんですけど。
2:07:20	はい。中国電力青木です。はい。ご説明いただきました通りはい適切にと記載を修正したいと思います。以上です。
2:07:30	はい。規制庁植木ですよろしく申し上げます。それと同じ話で、11番の資料なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:41	高圧炉心スプレイ系の蓄電池でこれは、
2:07:45	2 ページの行動計画を見ると、
2:07:49	チャンネル、
2:07:51	チャンネル、
2:07:53	ベースは基礎、基礎に埋め込まれたっていうふうに書いてあって図を見ると確かに、チャンネルベースが埋め込まれ、
2:08:03	てるんですけど、このチャンネルベースは、
2:08:06	具体的にどういうふうに止まってるんでしょうか。
2:08:17	中国電力箕氏、少々お待ちください。
2:08:37	中国電力青木です。発電所側から回答お願いします。
2:08:51	大丈夫。
2:08:52	中国電力佐々木です。発電所側から回答させていただきます。
2:08:58	チャンネルベースは、埋設金物、
2:09:01	溶接、
2:09:03	されております。
2:09:05	以上です。
2:09:10	規制庁幾つ、あれですか、ない、ない鉄金物、
2:09:17	それって何、何か
2:09:21	と、先ほど
2:09:25	二つのタイプとはまた違う。
2:09:28	違うということなんですかね。
2:09:31	かつその基礎支持構造の説明が、
2:09:35	基礎に埋め込まれたっていうふうにしに書いてなくてチャンネルベースの固定。
2:09:40	の方法が、説明とかあと図の方にもちょっと書いてなくて、
2:09:46	それは書かないと。
2:09:49	どういうふうに固定されてるかってのがわからないので、
2:09:54	記載していただきたいんですけど。
2:10:00	はい、中国電力青木です。はい、了解いたしました。と記載を適正化させていただきたいと思います。以上です。
2:10:08	規制庁動き出すをお願いします。
2:10:11	それから、12 番。
2:10:17	の資料、本剤 12 番は、蓄電池と同じ蓄電池関係は、
2:10:24	以上です。
2:10:26	あと、13 番。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:30	高圧度、航空障害灯完成機ですか、資料番号がN-S2-添 2-014-27。
2:10:42	ですけど、
2:10:46	これの、
2:10:50	まずですね。
2:10:53	2 ページの、
2:11:02	まず、
2:11:05	これー、
2:11:06	この下の固定のところ、
2:11:09	宇和
2:11:12	の基礎ボルトっていうのは、
2:11:15	ケミカルアンカーではない、ない。
2:11:18	です。
2:11:21	中国電力青木です。はい。こちらはあと施工のアンカーではなく、コンクリートの打設時に設定した基礎ボルトとなります。以上です。
2:11:30	規制庁植木ですわかりました。
2:11:36	この新規、新規
2:11:38	の設備っていうことを新規で、
2:11:42	基礎分もあわせて新規。
2:11:45	作られているっていうことはわかりました。
2:11:50	は、
2:12:01	あと 12 ページで、
2:12:09	設計用床宇都スペクトルのさ、ごめんなさい、12 ページの 5、5.3 ですか設計用地震力のところなんですけど、これ、
2:12:20	中なので、
2:12:24	スペクトルの減衰定数を記載する必要があるんですけどそれとなん、その減衰定数は何によってるかっていう、
2:12:37	説明と、減衰定数の記載が必要。
2:12:42	だと思んですけど、いかがでしょうか。
2:12:48	中国電力青木です。はい、ご指摘、了解いたしました。まず減衰定数を明記することいたします。また、こちらは自律版になりますので、末岡の減衰定数は 4%を使用しております以上です。
2:13:04	規制庁植木です。
2:13:07	わかりました。
2:13:10	木場。
2:13:11	ですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:15	そうですね 2 ページ。
2:13:20	行動計画関数
2:13:23	障害等、
2:13:27	半世紀、
2:13:30	中部電力青木です。はい。ちょっと伴名称としては特殊な名称になってございますけれども、構造としては、伴と考えていただいて結構です。以上です。
2:13:40	規制庁伊井です。わかりました。ありがとうございます。
2:13:48	です。
2:13:51	14 ページ。
2:13:55	ちょっと、
2:13:56	私が見落としてるかもしれないんですけどここで、一番上の式でですね、
2:14:04	LargePSとかP、
2:14:09	P系、
2:14:10	とかですね。
2:14:12	あと、Nf。
2:14:16	とかですね、
2:14:22	値値とか、まずちょっと簡単のところから言うと、
2:14:28	Nfというのが出てくるんですけど、
2:14:32	これは、5 ページの方で、用語の説明を見ると、真ん中ほどにNのボルトの本数、
2:14:42	下に、
2:14:45	出てくるN-Sあ失礼で、失礼です。これは結構です。
2:14:49	あとPSとP系に関しては、
2:14:57	これ、後ろの方の諸元表。
2:15:01	元、どこに出てくるんですしたっけ。
2:15:08	中国電力青木です。
2:15:10	先ほどの機能、機能の説明の 5 ページ目のところの、NFのちょうど下のところにP系とPSとしまして、P系は、風荷重、PSは積雪荷重等を明記しております。以上です。
2:15:24	規制庁植木です。
2:15:28	藤。
2:15:34	と 8 ページ先ほど説明された、5.2. 4、風荷重、
2:15:41	5.2. 5、積雪荷重、
2:15:45	ということで、
2:15:48	風速とか積雪とか係数、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:53	学校に示され、
2:15:55	ているんですけど、ところこれで、PSとかP系っていうのは、
2:16:03	直接、
2:16:06	出てくるんでしょうか。
2:16:11	中国電力青木です。
2:16:13	はい、ご指摘の通り、確かに諸元として明確な数値が出ておりませんので、17ページ等の
2:16:21	機器要目等に明記をするものとした、いたします。以上です。
2:16:27	規制庁です。はい。お願いします。
2:16:35	書類関係は、私の方から以上です。ちょっと補足の方はちょっと幾つかあるものでちょっとそれはまたちょっと後にしたいと思います。とりあえず以上です。
2:16:50	ありがとうございます他にお願いします。
2:17:02	規制庁の山浦です。
2:17:08	3番の資料で、
2:17:13	2ページの
2:17:15	絵に、
2:17:16	2ページの絵でウエキからもちょっと、
2:17:19	コメントがあったんですけども、ともかくその
2:17:25	制御棒駆動装置の
2:17:28	制御棒駆動機構というのが、全体的にどんなもので、
2:17:33	そのうちの、ここをどう、どういう理由で選んで評価するかっていうのがちょっと、
2:17:42	余りにもわからなくて、
2:17:44	ともかくこの、
2:17:46	説明、
2:17:48	それから、
2:17:49	1ページで
2:17:52	表2、2.1を引用してるんですけどもそこに、
2:17:56	ちょっと、どうしてここを選んだのかというのを、
2:18:01	ちょっと工夫して書いていただきたいと思います。これ基本的にウエキのコメントと一緒にです。
2:18:10	それから
2:18:14	駆動部、制御棒駆動機構というのがちょっと、
2:18:19	一体どこまで含まれるのか私よくわからないんですけども。
2:18:25	後の方で出てくる水圧制御ユニットっていうのはこれは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:30	制御棒駆動機構の一部なのか、別物なのか、これはどちらなのでしょう。
2:18:38	中国電力石垣です。まず2ページ目の概略構造図には、制御棒駆動機構の主体構造を含めでも検討しまして追記いたします。
2:18:51	評価、ンス7ページ目の、
2:18:54	評価部位のところにですね、評価部位、
2:19:00	を選んだ理由等を記載したいと思います。
2:19:05	HCUと制御棒9、水圧制御ユニット、制御棒駆動機構の関係ですけども、水圧ユニットの方で、
2:19:19	窒素容器と、
2:19:22	アキュムレーター等がありまして、スクラム弁のところで、スクラムが信号発生しますと、挿入力をエノオし、CSAユニットの配管を通して、
2:19:35	制御棒駆動機構の方に水圧が流れる形になっています。
2:19:40	制御棒駆動機構の方は、その水圧を用いまして、その制御棒駆動機構の構造、脳によってピストンを上げていくという構造になっています。
2:19:54	以上です。
2:19:57	はい
2:19:59	わかりましたけど、別物なんですか何か。
2:20:03	制御棒駆動機構というのの中に水圧制御ユニットが、
2:20:09	入ってるのかどうかということなんですけども。
2:20:13	その点は、
2:20:15	どうなのでしょう。
2:20:17	中国電力日置です。失礼いたしました。制御棒駆動機構とSEとは別物になります。水圧制御ユニットから配管を、で繋がって制御棒駆動機構に繋がっています。
2:20:31	別の機器になります。以上です。はい了解いたしました。
2:20:36	それから3番の資料の20ページで、
2:20:40	協力は書かれてるんですけども、これが設計応力上載SMの2.25倍とか、
2:20:49	文章で書かれてるんですが、
2:20:52	他の耐震計算書と同じように2.25Smとか、そういうふうな書き方した方が、
2:20:59	わかりやすいんですけどもういかがでしょうか。
2:21:06	中国電力石垣です。承知いたしました。記載の方、検討して修正したいと思います。以上です。
2:21:15	はい、了解いたしました。
2:21:24	それから、
2:21:27	3番の資料の24ページG2、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:33	先ほど植木からも話があった疲労の、
2:21:37	疲労というか、
2:21:40	回数のお話があるんですけども、先ほど、
2:21:43	運転状態の回数と地震の回数を合わせたものというふうに、
2:21:49	お伺いしたんですけども、
2:21:52	発生、発生応力の方はこれど、
2:21:56	んど、どういうふうに見るんでしょうか。
2:22:00	運転状態と地震の応力を足し合わせたものになってるのか、ちょっとその回数と使ってる応力の関係性がどうなってるのか教えてください。
2:22:16	中国電力志賀規律少々お待ちください。
2:22:47	中国電力石垣です。これを圧力に関しましては、別途整理して説明させていただきます。以上です。
2:22:55	了解いたしました。
2:22:58	それから、⑤の資料なんですけども、
2:23:02	これは水圧制御ユニットの耐震性についての計算書で、
2:23:10	構造図が2ページに書いてて、これフレームだ形なんですけども、
2:23:21	この水圧制御の
2:23:24	ユニットの耐震計算書ということで構造図がこれだけしか出てこないっていうのが、
2:23:32	ちょっとただ1ページの構造計画。
2:23:36	では水圧制御ユニットの構造計画を表21に示すというふうになってて、
2:23:43	ちょっと
2:23:45	本体が余りにも抜けてしまってるんですけども、別の資料を見るといろいろなボンベとか、
2:23:56	いろいろな配管類とか弁とかがついてるようなんですが、
2:24:02	ここ、
2:24:03	今回この耐震計算書でこの部分に着目するんだったらその、
2:24:10	1ページ目で、
2:24:12	そのことを書いていただかないと、
2:24:16	水圧制御ユニットがこの
2:24:18	何かパイプのフレーム構造なのかというふうになんかちょっと思っちゃうんですが、ちょっとこの付近、
2:24:25	追記お願いできないでしょうか。
2:24:30	中国電力の石垣です。今考え方としましては、評価部位がわかりやすいようにということでこの図を記載したんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:41	ご指摘の通り、HCUの構造全体というのがわかりにくいので、配管ユニット、計装ユニット等含めまして、概略構造図を検討してさらに評価部位がわかりやすいようにしたいと思います。
2:24:56	評価部位に関しましては、8 ページ目の 3 ポツのところに記載しております。ここについてもなぜここなのかというところ、頭でいいのかというのを
2:25:08	検討した上で、必要に応じて修正したいと思います。以上です。
2:25:13	はい了解いたしました。
2:25:16	あとはもう最後なんですけど 13 の資料で、
2:25:22	1 ページで、
2:25:24	2 行目で、
2:25:26	設計地震力に対して十分な構造強度を有しているということなんですけども、
2:25:33	これ、
2:25:34	Sクラスじゃないと思いますので、
2:25:37	具体的に、基準地震動、
2:25:41	Ssに対してというふうに記載すべきかなと思うんですがいかがでしょうか。
2:25:54	はい中国電力青木です。了解いたしました。適切に修正いたしたいと思います。以上です。
2:26:00	はい。はい、わかりました。ちょっと最後、もう一つ、もう一つだけでした。12 ページで設計を地震力という。
2:26:10	のがあるんですけども、ここで
2:26:16	これを久我伊井のものなんですけども床応答曲線というのは、
2:26:22	どこのものを使う、使ってるんでしょうか。
2:26:30	中国電力青木です。
2:26:32	はいこちらにつきましては据えつけ場所になります排気塔のエレベーションの 8.5 メーターのところの床応答スペクトルを使用しております以上です。
2:26:44	はい了解いたしました。普通、使ってる。
2:26:49	床応答の竹田とかエレベーションとか書いてたと思うので、それが何か特定できるような、
2:26:56	ちょっと、
2:26:58	記載をお願いしたいと思うんですが、よろしいでしょうか。
2:27:08	書いてました。すいません。
2:27:11	ちょっと見落としてました。申し訳ありません。私からは以上です。
2:27:20	ありがとうございます。
2:27:26	すみません、規制庁実用炉審査部門の服部です。今日の資料のまず一番の資料なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:37	確認なんです、この紙、7 ページに加振試験の試験装置の概要の絵が出てます。
2:27:45	で、9 ページ 10 ページに試験結果が出てるんですが、この試験結果っていうのは、
2:27:51	7 ページ或いは 8 ページにあるような試験、
2:27:55	この試験体を使った結果が 9 ページ 10 ページになってるっていうことを、
2:28:01	でよろしいでしょうか。
2:28:04	中国電力の石垣です。ご認識の通りです。以上です。
2:28:09	はい。で、9 ページ 10 ページの結果はもうこれは既工認でもこのグラフが使われてる。
2:28:17	ということ。
2:28:19	でよろしいでしょうか。
2:28:22	はい。中国電力の石垣です。既工認においてもこの試験結果を使用しております。以上です。
2:28:29	はい、わかりました。そういう意味では、妥当性はすでに確認されてるってことだと思うんですが、
2:28:34	7 ページGの試験体の絵なんです、
2:28:38	この試験、まず資金容器伊賀の 5 であることが前提だと思うんですが、それは、
2:28:48	当然確認されてると思うんですが、
2:28:52	どっか書いとく必要ないですか。
2:29:03	はい。ご認識の通りそれが前提なのでそのように意識しております。以上です。
2:29:11	わかりました書くまでもないってことですねそれで 7 ページの絵を見ると、
2:29:17	アクチュエーターで江藤、真ん中、炉心支持部辺りを揺らしてるんですが、
2:29:24	下側がピン支持点になって多分こっつて、回転フリーだけに出ないで、上が加振方向の絵が、
2:29:35	正しく何か少し回転
2:29:38	イメージ、イメージするような矢印になってるんですけども、
2:29:42	ある意味で完璧に水平方向に揺れてるわけではない加振試験。
2:29:49	ということなんでしょうか。
2:29:52	中国電力の石垣です。古泉図でいきますと、少し概略のような形で記載しておりますが、この試験要求は約 8 メートルぐらいの形の長さになっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:05	その中間部を圧油圧加振機の方で押しております。燃料の応答変位が 40mm まで出ていますが、加振機自体は 40mm まで振らず mm ぐらいですね、を振っています。
2:30:20	8メートルに対して数ミリを振るということで、ほぼこの構造としては、ポンチ絵ではちょっと、PC ですごい平行に入れられないように見えるんですけども、
2:30:30	実際の縮尺費から縮尺から考えますと、8メートルに対して数ミリで、加振
2:30:37	硫黄で振っていますので、並行というふうにも問題ないと考えております。以上です。
2:30:45	わかりました。妥当性はもうすでに確認されていることなので、わかりました。
2:30:49	続いて、
2:30:54	えっとですね 2 番の資料なんですけど、
2:31:01	2 番の資料で、8、
2:31:03	ページに
2:31:06	ボロンカーバイドバター等、ハフニウム制御棒が書いてあるんですけど、
2:31:12	摩擦力のところの値が、ハフニウム制御棒は、1509 ニュートンと、この理由が 7 ページに書いてあって、
2:31:23	表 4 の 5 番のところ、
2:31:27	制御棒の合成、
2:31:29	比を乗じるって書いてあるんですけどこれ 1500 ニュートンに対して、剛性比を生じて 1500 ニュートンというのはこれは実は、1 杯しかかかってないってことは、
2:31:42	多分、試験対象として見たのがこの 8 分分制御棒のタイプ。
2:31:50	ということなんですか。
2:31:52	ボロンカーバイド型はそれに比べて
2:31:55	さっき 1509 ニュートンに対して剛性比 1.5 倍を考えて、2264 という値を使うということでしょうか。
2:32:10	中国電力の石垣です。少々お待ちください。
2:32:29	はい。中国電力石垣です。表、ご指摘の通り表 4-1-5 のところに期待力その 2 で、燃料費 34 ミリにおいて 1509 ニュートンと、
2:32:40	いうふうに書いておまして、実際にかけているものっていうのが、
2:32:45	島根 2 号機のハフニウム型については 1509 ということで、1 杯つまり同じ段巡目ジオメトリというふうに、いう譲渡状況になっています。
2:32:56	それに対しては、江藤は、ボロンカーバイドの場合は、この 1590 トンからの比例倍という形でなっていますのでその
2:33:06	期待その 2 で使っている値、抵抗力、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:11	のそのまんまではなくてそれが比例倍という形になっているというふうになっています。以上です。
2:33:17	施設あたりですってというのは7ページのところって比例倍してるわけじゃなくてそのままの数字を使ってるってということなんですよ。
2:33:29	はい。中国電力、石垣です。7ページ目の表4に関してはそのままの値ということになります。以上です。
2:33:38	わかりました。
2:33:39	ここに何かわざわざ、非費用を乗じるって書いてあるのは元理由がわからなかったんですが、
2:33:47	これ残しますか。
2:33:50	1.0 なんです、
2:33:52	ある意味、正しいちゃっらしいんですけど、
2:33:56	中国電力石垣です。ご指摘の通りわかりにくいので適切に文書の方を修正いたします。以上です。
2:34:04	はい。それから次9ページですけども、
2:34:09	真ん中ぐらいに、
2:34:12	摩擦力と時間ぐらいの関係が書いてあるんですが、
2:34:18	閣僚確認の評価結果の運営と1、第2パラグラフの最後の方に、
2:34:25	摩擦力と時間遅れが疲弊するとしてって書いてあってその下に計算式で、秒数が出てるんですが、
2:34:33	次、摩擦力と時間遅れが比例するってというのは、
2:34:38	これは
2:34:40	何か理由を示せるんでしょうか。
2:34:44	全部増加傾向は、比例かどうかは別にして
2:34:49	時間、摩擦力、大きくなれば時間遅れが増えるってというのはわかるんですがそれが比例するってというのはどういうことでしょうか。
2:35:03	中国電力、石垣です。
2:35:06	摩擦力というのは燃料の変位が大きくなることによって、制御棒が燃料集合体から受ける力、抗力の下向きの力として
2:35:20	出ているというふうに考えております。その効力によって制御棒が挿入が遅れるというふうな認識でいます。
2:35:30	これをですね、図、図の11ページ目は12ページで見させていただきますと、
2:35:37	これ、ほぼ直線というわけじゃないんですけども、この40mmの範囲であればですねほぼまっすぐになっているということを考えまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:50	ここの評価の中では、しつと摩擦力と、つまり燃料変位ですね、燃料閉によって、摩擦力が発生して、
2:36:00	摩擦力によって時間が遅れるという部分を比例というふうに仮定して評価の方を実施しております。
2:36:06	以上です。規制庁の土肥です。仮定してることわかるんですがその過程が、
2:36:13	どのぐらい正しいかっていうのは、何か説明できるんでしょうか。
2:36:33	中国電力の田村です。ここの記載については、ご指摘の通り、先ほど石垣が説明したように、
2:36:43	別図 1 の
2:36:45	線を直線として見る、あと
2:36:53	なんて、
2:36:56	摩擦力だけじゃなくて地震の回数とか、いろんな要因があるので、一概には言えないと思いますけど、そこを線形性があるとするとういう関係があります成り立つという、
2:37:07	概略のお示しだと思っててここは
2:37:11	厳密な、
2:37:13	ことの、このような計算はできない。
2:37:16	とは考えておりますけどオーダー感としてこのような形と考えております。
2:37:21	鉛直地震力は本当は北方向にもう採用すれば上方向に作用するという、そのオーダーで考えますと、
2:37:32	プラスマイナスゼロということも考え、
2:37:35	ることもできるんですけども、下方向に作用するということだけを取り出して考えても、このような計算になりますよという、そういうオーダーのを、
2:37:46	大旅行されるための評価だと考えております以上です。
2:37:50	規制庁がとりあえず数値的にも問題になるような数字ではないんで、いわゆる、ざっくりとした評価やってみると、
2:38:00	非常に小さい値ですっていうことを言いたいということですね。
2:38:07	中国電力田村です。はい先行機、
2:38:11	からの評価を当社としても踏襲したものでそのようなオーダー感を抑えるための評価だと、理解しております。ご理解いただいた通りだと考えております以上です。規制庁土肥です。了解しました。
2:38:24	次、13 ページですが、これ記載だけなんです、
2:38:29	両括弧 2、評価結果のところの真ん中ぐらいのところ第 1 パラグラフの一番最後のところに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:36	周波数っていうキーワードが入ってます。これ確かに機器耐力その2ではその言葉使ってるんですが、これはもうすでに報告書で出てるものでこれは、
2:38:47	その通りなんです。11、14ページとかそうなんです、
2:38:50	13ページでこれ、ぜひ振動数という言葉に、
2:38:55	他の場所でも、
2:38:58	購入の資料の中では統一していただきたいと思いますが、いかがですか。
2:39:06	中国電力の石垣です。この文の中だけであれば、主人同数でも良いんですけども、14ページ目の方に、図5がありまして、次のページはこれはすでに他の当初出てるのでこれは変えようがないのでこれはこのままでいいと思います。
2:39:28	はい、わかりました。では13ページ目の方は、振動数の方に修正いたします。以上です。
2:39:36	はい。よろしくお願いします。
2:39:38	それで、次に、
2:39:43	えっとですね、この資料4ですけども、
2:39:47	これの、
2:39:49	1ページ目の文章なんです、3のスクラム機能に対する耐震評価のところ、第2パラグラフ、第2パラグラフっていうか
2:40:03	開業されてる、次のところ、当該記載を踏まえのところからなんです、
2:40:08	下のさ、三、四行目のところからスクラム挿入試験で、制御棒挿入時間が安全上要求される1.62秒以内を満足できる。
2:40:18	燃料集合体の変位は40mmで書いてある、40mmであると書いてあるんですが、
2:40:24	この記載が、
2:40:26	本当にこの通りなのかどうか、何かよくわからなくて、40ミリだったら1.62秒以内を満足できるっていうことはわかるんですが、
2:40:37	1.62秒以内を満足できる燃料集合体の併用は40ミリであるっていうのは、ちよつと、
2:40:46	いいんだ、違うんじゃないかなと思うんですが、この点いかがですか。
2:40:51	中国電力石垣です。これは燃料集合体編40右でにおいても、
2:40:59	安全上要求される目安値電力2秒を満足できるというふうな意図になります。文章の方が少しわかりにくいので、この部分については適切に修正させていただきたいというふうに思います。
2:41:13	以上です。伊勢だってその通りだと思う。よろしくお願いします。ここのところの一番最後のところでこの値を満足することを確認しているっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:24	に書いてあるんですがこの値は、
2:41:27	時間のことを言ってます貨幣のことを言ってますか。
2:41:33	麻生家へ寄って書いてありますね。すいません。
2:41:37	はい。はい。その通りです。以上です。
2:41:42	それと、5番の資料なんですけど、
2:41:46	12ページ、お願いします。
2:41:50	4.3の両括弧2で、
2:41:55	この丸野衛藤。
2:41:59	右上と、
2:42:00	左下が黒いやつのところか11を示して書いてあって、内容を見ると、質量のことを書いてあると思うんですが、
2:42:10	これだから荷重じゃなくて質量を表してるんですよね。
2:42:17	はい。中国電力石垣です。この部分は質量を付加している部分になりますので質量というか提示で修正に、表現に修正したいと思います。
2:42:28	以上です。はい。規制庁渡です。よろしくお願いします。それと、
2:42:35	これさ、
2:42:36	無法なんで、基本的に使用してる要素は梁様相でしょうか。
2:42:44	はい。中国電力石垣です。梁要素になります。以上です。そしたらですね何か使用してる要素についても記載をお願いしたいんですが。
2:42:57	はい。中国電力石垣です。はい。使用してる要素を追記したいと思います。以上です。
2:43:04	はい。それとですね、この両括弧3なんですけど、両括弧3は5要素を示すって書いてあるんですが、この5要素っていうのは、
2:43:14	具体的に、
2:43:20	幾つかこれは、
2:43:22	あれですよ無限大の構成持つ針っていうことですよ。
2:43:27	はい。ご認識の通りです。以上です。
2:43:32	はい。
2:43:34	了解しました。それと、
2:43:38	今度は資料7ですけども、
2:43:43	知久盆地なんですけど、
2:43:47	14ページをお願いします。
2:43:51	このページでも一緒なんですけど、
2:43:53	14ページに図があるんですけども、
2:43:56	各図の下の方に、静BBS図と書いてあるんですが、この下に括弧で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:07	不等号は書いてあるんですがちょっとこの不等号の意味を教えてください。
2:44:18	はい。中国電力青木です。こちらの統合は、
2:44:22	V-1 に対しまして 17 から、
2:44:25	L-11L-21 というのを記載しておりますが、鉛直方向の地震動が、1 を超える場合と超えない場合で、評価式が変わって来たりしますので、
2:44:36	こちらの数字を示すかということは定義できるように記載しているものになります以上です。
2:44:42	そうですね。わかりました。はい。
2:44:45	最後に 13 番の資料ですが、これは単なる質問なんですが、高高度航空障害等完成期って書いてあるんですが、これは、
2:44:58	何もないんでしょうか、簡単に説明していただければ助かります。
2:45:08	中国電力のクラムスです。これは排気塔のところに設置されてるんですけども排気塔航空障害と、フィックたとは光らせるようなものがあると思うんですけどもあれを制御する盤になりまして、直接、
2:45:22	原子力施設としての安全機能を持つものではないんですけどちょっとそういった航空障害等の制御する盤ということになります。今回、
2:45:32	そういった安全機能を持つものではもともとないんですけども、周辺に上位クラスの施設があるということで、波及的影響の観点から基準地震動 Ss に対しての、
2:45:43	構造強度評価を行っているものがこの計算書になります。以上です。はい、わかりました。そうかそうかなんかだから高い建物とか何かそういうてっぺん。だからここだと排気塔のてっぺん辺りに、
2:45:56	何かそういうピカピカ光るものがあって、そいつを制御するための盤がここにあるということですね。ほ
2:46:06	中国電力のクラムスです。はい。ご理解の通りです。以上です。規制庁藤です。わかりました。私から以上です。
2:46:14	規制庁のです。堀野さんいかがでしょうか。
2:46:19	富井医師よろしいでしょうか。まず一番の資料なんですけど、
2:46:29	1 ページでちょっと西武線ですけど、
2:46:35	なんですか、10 日。
2:46:38	何のための直のですね、一番最後辺りなんですけど、
2:46:48	ボロンカーバイド型制御棒の説明をしてるところで、中性子照射によるガス等の発生に伴う中性子吸収 5 の、
2:46:59	内圧が上昇するが、寿命末期において中性子吸収、検収棒の変形は生じないという文章があるんですが、これは燃料棒と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:10	まずい意味合いで、
2:47:13	その中にガスが発生してるけども外圧が強いので、
2:47:20	平均は生じないと同じような、
2:47:23	ことを説明してるんでしょうか。
2:47:27	はい。中国電力石垣です。はい。ボールカーボンカバー型の棒に関しましては端部を単線で止めておりますので、
2:47:37	ガスが発生しても、中性子吸収分の変形は生じないということでご認識の通りです。以上です。
2:47:45	すいませんそれでちょっと一番最後の塗料を受けて欲しいんですけど、以上より制御棒の寿命中において、調査中駐在による神経の進出の変形がないことから書いてあるんですけども、
2:48:01	等、
2:48:02	先ほど文章寿命マップにおいて、
2:48:05	という。
2:48:07	言葉だったんですが、ここの文章では寿命中ってということなってるのでそうずっと、初期からさ、最後まで、
2:48:18	変形はないと言ってるような気がするんですけどその辺の関係はどういう関係になってんでしょうか。
2:48:24	はい。中国電力の石垣です。ご認識の通り、この分については、寿命末期においても、変形は生じないということでももちろん寿命の末期の前においては、
2:48:34	内圧等、発生しないんです。そもそも、廊下型の中の棒が変形することはないということで、
2:48:44	寿命中全体にあたって棒が変形しないで、かつそれによって支出が変形しないというふうな認識になります。以上です。
2:48:59	あ、そうそう思います。両今は、
2:49:08	ちょっとそれ、上に三つ目。
2:49:14	多い。
2:49:21	そう。
2:49:26	2 番の終了。
2:49:28	なんですけれども、
2:49:33	スプーンところ。
2:49:38	堀野さんちょっと音声聞こえなくなっちゃったのもう一度いいですか。
2:49:44	すいません。2 番の資料の
2:49:48	きちんとなんですけど、
2:49:50	これ鉛直。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:54	一斉に投稿加速度の影響について説明していることが必要ですが、
2:50:03	この原子力安全基盤機構の報告書等を、
2:50:11	見てですねその説明をしてるんですけども、
2:50:15	ちょっと進まない。
2:50:17	それを適用させ、
2:50:20	それまでに5にそれが適用できるというような説明がどこにもないような気がするんですが、
2:50:28	例えば、燃料は全く一緒に、
2:50:33	想定されてる器具等も
2:50:37	馴染むものを示してるとか何か
2:50:40	妥当性について何か説明して、検診ですよ、いかがでしょうか。
2:50:49	はい。中国電力の石垣です。JNESの北井木曾の2で使用しているものと、型式等の比較をして適用できることを追記したいと思います。以上です。
2:51:02	秋谷議員の鷺見主幹。
2:51:10	それと2番目の3度に、16ページに、
2:51:19	当兵庫があるんですけど、
2:51:22	ここに書いてあるケア扶助キアガリをとですね
2:51:28	13ページ。
2:51:31	あたりに書いてあるが、機能の関係ですし、土地、
2:51:36	数値が違ってきてるのでですね、数値が違ってくる。
2:51:42	その違いを、一応、
2:51:46	御説明があるような気がするんですが、いかがでしょうか。
2:51:53	中国電力石垣です。少々お待ちください。
2:52:13	はい。中国電力石垣です。この数字に関しては別途確認させてください。以上です。
2:52:20	規制庁よろしく申し上げます。
2:52:29	えっと3番の給料。
2:52:33	いろいろコメントがついたと思うんですけど、3ページに
2:52:41	耐震評価フローがついてるんですけど、
2:52:45	読んでいくとですね推し設定より戦略は、
2:52:50	と。
2:52:54	この計算モデルを作って、なってるわけじゃなくて、
2:53:03	放送等の結果を持ってきてるような感じもするんで、このフローはその辺のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:11	表現されてないのでちょっとこのフローは見直す必要があると思うんですけど、いかがでしょうか。
2:53:19	中国電力の志垣です。フローに関しては設計を地震力という項がついております。
2:53:28	この説明がこの3ポツ、3ページ目の方に記載がないので、フローではなく文章の方に、設計地震力の算出のことについて記載しようと思うんですけどもどうでしょうか。
2:53:45	以上です。
2:53:47	村長の方ですね、それでも結構ですわかればよろしいです。
2:53:51	よろしくお願いします。
2:53:53	所。
2:53:56	一応これ坂東の評価という話になってるんで、
2:54:01	ここの資料ではなくてもいい、いいんですけど、バウンダリーがどう、どこなのか、わかる図が欲しいんですけど、
2:54:11	そうか。
2:54:20	あ、中国電力石垣です。
2:54:23	もう一度確認させてくださいこのバウンダリーの分かる図をこの最新計算書に追加する必要があるということでしょうかそれとも別途説明すれば、ご説明していただければ結構だと思うんですが、
2:54:37	はい。わかりました。別途、バウンダリーがわかる内容を説明したいと思います。以上です。
2:54:44	よろしくお願いします。
2:55:00	登録。
2:55:09	13ページですね
2:55:12	注記の3番で、制御棒駆動機構ハウジングの地震オープン解析結果を用いるためって書いてあるんですけど、
2:55:21	これは、会う人単独で
2:55:25	何かをと解析結果があるのかそれとも別のどっかの結果なんでしょうか。
2:55:33	中国電力、石垣です。この
2:55:38	ハウジングの地震応答は、どな炉心、原子炉圧力容器及び原子炉内構造物並びに原子炉本体基礎の地震応答計算書においてAと評価されています。
2:55:51	ハウジング部の荷重に応答結果になります。以上です。
2:55:57	その辺の出典の関係が、
2:56:00	わかるように記載した方がいいと思うんですけどいかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:07	はい。中国電力志垣です。8 ページ目の固有周期のところはその記載があるんですが、
2:56:17	これが応答にも使うということまで見えないので、それがわかるような形に修正したいと思います。以上です。
2:56:48	すいません、大粒資料 5 をお願いします。
2:57:02	2 ページの概略構造図については、いろいろコメント出たと思うんですけど、
2:57:10	ここの取付ボルト下のところしか書いてないんですけど、
2:57:16	実際には上にも取付ボルトをつけ、
2:57:19	てると思うんですけど、
2:57:24	と。
2:57:25	その辺のところも、取付ボルトがついてるところもつとやっぱ知った方が、拘束条件もここで明確になるので、そうした方がいいと思うんですが、いかがでしょうか。
2:57:40	はい。中国電力石垣です。はい。概略構造図には評価部位類として一番厳しくなる後付ゴウトウのみ記載しておりますが、
2:57:50	ご指摘の通り、上側にも取付ボルトがついているのと、あと中間部にも言うボルトがついておりますので、この図の修正に合わせてですね、
2:58:01	固定部分等がわかるような形で修正したいと思います。以上です。
2:58:08	規制庁本城ですよろしくお願いします。それから、9 ページ。
2:58:14	なんですけど、9 ページのですね、鬼頭の区分、
2:58:19	のところがですね。
2:58:21	CRUSHC 構造物になってるんですけど、
2:58:25	広井圧裁判ビットとしてはよ、いい。
2:58:30	ではないんでしょうか。
2:58:38	中、中国電力の石垣です。水圧ユニットの評価部位であるフレーム及びその支持構造物に関しましては、
2:58:48	支持構造物の区分として評価を実施しております。以上です。
2:58:57	秋田こういので、それはわかるんですけど。
2:59:02	今までもそうなんです。
2:59:04	ここの機器等の区分っていうのはあくまでも評価部分だけの区分を記載する。
2:59:11	そうか。
2:59:13	今陽輝。
2:59:14	容器なんだけれども最終的に評価は、支持構造物で評価するっていう、吸気を入れルー。
2:59:26	そんな普通かなと思ったんですけど、いかがでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:30	中国電力石垣です。9 ページ目の表は荷重の組み合わせ及び協力状態ということで、評価部位に対しまして、どの荷重を組み合わせるのか。
2:59:42	協力、どの協力を用いるのかというのを表していますので、この分については
2:59:52	の評価部位のところ限定して、記載するものというふうに認識しております。以上です。
3:00:00	規制庁本城です。了解しました。
3:00:03	それから 12 ページ、先ほど荷重位置んところの話では点の方から出てましたけども、
3:00:12	他のフレームとかとか、資料があるところはあると思うので、
3:00:20	資料 1 というのは、付加質量域というふうに修正された方がいいと思うんですけど、いかがでしょうか。
3:00:31	中国電力の石垣です。ご指摘の内容は 4 本と 3- (2) のマルの右上と左下に黒がついているか 11 というのは数量 1 じゃなくて付加質量 1 ということでよろしいでしょうか。
3:00:45	失礼しましたそういう意味です。
3:00:48	はい。中国電力石垣です。承知いたしました付加質量 1 というふうに修正いたします。以上です。
3:00:56	よろしくお願いします。
3:00:58	あと、23 ページなんですけど、
3:01:03	一番下に要素番号が書いてあって、材料とか、データ面積とか、断面係数が書いてあるんですけど、
3:01:13	これよくわからないのは、80 中 46 ということで、
3:01:21	結構、
3:01:24	ここの番号があると思うんですけど、ここに付けてるってのは何か意味があるんでしょうか。
3:01:33	中国電力、石垣です。
3:01:38	24 ページ目、2 以降をご覧ください。ここにもですね要素番号として 801046 というふうに記載しております。
3:01:50	この要素番号はですねその右側の表で、FXFIFZMXMMZ等がですね、マックスになるという部分を記載しております。
3:02:02	厳しい部分だけの要素版が厳しくなったところだけの要素番号を記載しております。それに対応するような要素番号の諸元としまして、23 ページにも対応する要素番号のみの
3:02:15	諸元を記載しております。以上です。
3:02:19	規制庁同士、厳しいところを代表として記載してるということで了解しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:27	それで、
3:02:28	その点は宇田川の方から話もあったんですけど、この課税方向のところですね。
3:02:35	XYZと、
3:02:37	書いてあって、地震の荷重だっというご説明だったんですけど、これが地震だったところ、書いてないし、XYZというと、
3:02:49	前の記号説明では只野、茶木家になってるので、もう少しこれは地震荷重の木曾高校の加地内田とか、Excess機器ぐらいます方向ってかX地震というのかな。
3:03:03	ちょっと地震だとわかるように記載した方がいいと思うんですがいかがでしょうか。
3:03:07	中国電力の石垣です。はい。XYZに関しましては地震荷重のXYZというふうになるよう、
3:03:17	表の方を修正いたします。以上です。
3:03:20	規制庁堀野です。よろしくお願ひします。はい。
3:03:25	それぞれ、
3:03:34	OK。
3:03:36	C5 ですね、143 番の資料の
3:03:44	ちょっと、
3:03:46	18 ページ。
3:03:49	18 ページのですね乗る側の用地が
3:03:56	フジイに対してかなり小さな値になってるんで、
3:04:02	その辺からも何か、
3:04:06	後のページの大木十河とあと窓口かなという。
3:04:12	僕も思ってしまうんですけどこれの教示ちょっと確認。
3:04:16	お願いしたいと思うんですけど。
3:04:35	中部電力アオキ少々お待ちください。
3:05:24	中国電力青木です。
3:05:26	了解しました。ちょっとこの点を確認させていただいて回答したいと思いますせん断力が若干高目に出てますので、そのあたりQ値が下がっているのかなと考えていますが、ちょっと確認し回答するようにします。以上です。
3:05:40	規制庁堀野です。よろしくお願ひします。
3:05:43	私の方からは以上です。
3:05:47	ありがとうございます。
3:05:48	規制庁オオノですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:54	テイン難波はすいません。
3:06:01	5 番の水圧制御ユニットの耐震性N-S2.200904。
3:06:08	の 2 ページ。
3:06:10	なんです、これちょっと皆さんもいろいろ発言しているんでほぼ変わらないんですけど、評価部位がその取付ボルトのところとフレームだということなんです、
3:06:23	これ計装系もあるということなんですけど計装系の機能維持とかがって評価しなくていいんですけど。
3:06:29	という質問ですがいかがでしょうか。
3:06:35	中国電力の石垣です。この部分の機能に関する部分につきましては、スクラム弁が機能維持への評価の対象となっております。
3:06:48	エスクロー上については別途、機能維持の評価を実施しております。
3:06:55	規制庁のSI弁の機能維持は見たんですがそのケースユニットっていらないうのかなという質問なんですけども。
3:07:06	はい。
3:07:08	水圧制御ユニットについては軽装ユニット等、他配管ユニット等がありますが、この部分はもうフレーム等に固定されて十分 5 ということで、
3:07:19	フレームが壊れないフレームやそのC構造物が壊れない限り、問題ないということでフレームABC個別の評価対象としております。
3:07:31	以上です。
3:07:37	ちょっとすみません何か変な質問してしまうかもしれないんですけど、伴とかがってそういう揺らして
3:07:46	大丈夫、変な動作しないかとか見ると思うんですけど、計装ユニットってそういうことする必要ないんですけどすみません何かちょっと変なこと言ってるかな。
3:08:01	中部電力の田村です。
3:08:03	このHCのユニットは、ボンベに配管がついております。で、
3:08:10	そこの弁が開かないといけないのでその部分については、動的機能の評価をしております後は静的で合意できておりますので、剛構造できておりますのでそのイントの
3:08:21	評価をしているというところ。
3:08:23	で、
3:08:24	動的機器については弁になりますのでそれは別途評価する必要があるということになります。以上です。
3:08:35	次回図面では聞いたやつをいろいろ説明していただくと思うんですがその時にちょっとケース 2 について少し聞くかもしれないのでよろしくをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:49	はい。中国電力田村です。今日のご指摘でもそこらのわからないから、そこら辺ちゃんと評価部位とか説明するようにというご指摘もいただいておりますので、
3:09:01	そこらで資料をちゃんと書いた上でご説明させてください以上です。はい、わかりました。
3:09:10	等を、
3:09:13	埋込金物がある蓄電池がある話が少々町がすごいか。
3:09:21	3、
3:09:23	八、九十 11 位ですがね、資料 11 のN-S2-2.2010-34 の高圧炉心スプレイ系蓄電池ですかね。
3:09:35	この 2 ページの概略構造図税。
3:09:41	チャンネルベース、これ何もないけど何て言うんだっていうウエキから質問したときに、何か埋設埋込金物に溶接されてるという説明だったらよろしかったですかね。
3:09:56	中国電力青木です。はい、ご理解の通りです。問題ありません。以上です。
3:10:01	その埋込金物の抜いて直接支持構造物じゃないんですけど、ちょっと評価しなくていいのかなと思ってると思ったんですけど。
3:10:20	中国電力のクラマスです。評価部位につきましては、そういった溶接構造でベースに対して上の、蓄電池側が、はい。
3:10:31	溶接されているという場合の溶接部、
3:10:34	失礼しました。埋込金物チャンネルベースの溶接部に対して、ベースと、この番、蓄電池側の取付ボルトの方が、評価上厳しいということで基本的には溶接部とVを比べますと、やはり溶接部の方が、
3:10:49	Bと溶接しますんで面積、また面積が多いということからも厳しい部位としてはVとなりますので、非耐震評価上の評価部位としては取付部等としているところですよ。以上です。理解しましたありがとうございます。
3:11:04	私からは以上です他に、
3:11:13	規制庁池です。ちょっと耐震計算書でちょっと 2 点に忘れたことがありまして資料の⑤。
3:11:25	水圧制御ユニットの耐震性の経産省ですけど、
3:11:36	これで、8 ページですね、最初の説明の時に、
3:11:45	言われていた。
3:11:47	ことをちょっと聞き漏らしたんですけど何か評価によって、
3:11:53	いいですかねSRS数Sを使ってるものと、
3:11:58	絶対値和を使ってルー

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:02	ものがある、それらについては記載を今後追加するってということだったんですけど、ちょっともう一度数、内容を説明していただけないでしょうか。
3:12:17	はい。中国電力の石垣です。記載については、今のコメント、ご発言いただいた通りの内容です。それに対しまして今回の水圧制御ユニットについてはということで、
3:12:30	説明をしております、地震荷重のXYZに関しましては、SASSをして荷重を組み合わせしております。その他に実の地震荷重と自重を組み合わせるときには、
3:12:43	絶対中で荷重を組み合わせているということを説明しております。以上です。
3:12:50	規制庁植木です。わかりました。
3:12:54	はい。
3:12:56	多分SRSSか絶対値分ってというのは地震荷重に対してどうするかっていう話で、自重を絶対一位で足し合わせるってというのは
3:13:06	逆にそう、そうしないとおかしいので、
3:13:10	ちょっと他の
3:13:13	経産省の記載。
3:13:15	もあると思うんですけどちょっとその書き方については、
3:13:22	適切な記載をお願いします。
3:13:26	内容は理解しました。もう1点なんです、同じ資料の11ページ。
3:13:34	でですね、
3:13:36	材料、書き方で、
3:13:41	表4.4ですけど、
3:13:44	□とか□。
3:13:47	言いましたこれ。
3:13:50	えっとですねその注キング部分であります。
3:13:56	発言してしまった。
3:14:00	その資金
3:14:19	これ。
3:14:21	5番の資料は、エビデンスをレビデンスし、
3:14:25	オンフォールト
3:14:27	スプレイリング全部マスキング。
3:14:29	じゃちょっと、
3:14:31	削除して終わって、
3:14:50	あ、すいません今松木部分の発言があったので削除いたします。
3:14:55	規制庁植木です。資料の5番ですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:00	と、
3:15:03	弊社、
3:15:06	表 4-1。
3:15:13	所長松川。
3:15:22	だって、失敗しない。
3:15:31	三品。5 番目。
3:15:36	表 4-4。
3:15:40	規制庁幾つ 11 ページなんですけど、
3:15:44	ここで材料の書き方として注記を飛ばしているんですけど、
3:15:50	この書き方が共通
3:15:54	の方針に合ってるのかどうかっていうのをちょっと確認したいんですけど。
3:16:18	規制庁です
3:16:20	ちょっと言い方わかんないんですけど、木山球児IIの言い方を
3:16:25	変えてそこに注記を飛ばして、新新しい、
3:16:30	記号目を書くというやり方。
3:16:35	のか或いはもう、金材料のところにもう、
3:16:39	他の機器は何か、確かそういう不こういう書き方ではなくて、材料のところに新しい記号、
3:16:48	書いているようなものもあったと思うんですけど、どちらをスムーズにするんでしょうか。
3:17:00	はい。中国電力の石垣です。ご指摘の内容は理解いたしました。島カトウの整合性を踏まえて、検討の上必要に応じて修正したいと思います。以上です。
3:17:14	規制庁日置です。よろしくお願いします。
3:17:49	規制庁大野です。ちょっと 5 時半になってきたんですがまだちょっとあるようなんですみませんが、ちょっと残り次回にまわしたいと思います。
3:18:01	残り時間はですね。
3:18:07	おそらく 1 時間ぐらいはあると思うので次回にまわしといたたいと思いますがよろしいでしょうか。
3:18:16	はい。中国電力石垣です。承知いたしました。以上です。
3:18:20	すいません。
3:18:33	はい。
3:18:34	それでは堀野さんも大丈夫ですか。他に、この場で発言は。
3:18:41	どっちかっていうと□□に二つ質問あるんですけど、応募削除を行った。今の発言は削除いたします。
3:18:53	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:18:55	そうです。
3:18:56	はい。わかりました。
3:19:02	本日の
3:19:05	ヒアリングはこれで一旦終わりたいと思うんですが中国電力の方よろしいでしょうか。
3:19:11	はい。中国電力からは第1と問題ありません。以上です。はい。ありがとうございます。では本日のヒアリング終了したいと思います。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。